



報 会 窓 同 工 會

2023



福島県立会津工業高等学校

校 歌

作詞 吉田智 山村彌久馬
作曲 新潟師範学校

峯は秀づる磐梯山
水はた、ふる猪苗代
これぞ乾坤秀麗の
精氣あつまりなる處
明治三十七春中ば
礎かたく築かれて
星霜こゝに幾かへり
平和の覇者を育みぬ
身には白虎の粹をうけ
鶴を章に雄々しくも
至誠勤勞一筋に
進む健兒の意氣高し
屹つ峯は嶮しくも
寄せ来る波は高くとも
これ闘の活舞臺
これぞ我等の天地なる



『同窓会会報発行にあたって』

同窓会 会長 荒井 誠 一
(昭49年建築科卒)

同窓生の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のことと拝察しお慶び申し上げます。

私は、この度の同窓会総会において会長に選任頂きました。任期中は新役員の皆さんと一丸となり会員皆様のご支援ご協力を頂きながら会員相互の信頼と親睦を深め同窓会の発展と学校及び生徒が安心して学べる環境を作るため努力してまいります。改めて会員の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

約3年に渡り猛威を振るつた新型コロナウイルス感染症も法的に第5類に移行し日常活動が行われるようになりました。しかし予防に注意が必要なことは言うまでもありません。また、今年の夏は例年のない猛暑となり水不足が懸念され農作物の高温障害による影響が危惧されるところです。

同窓会を取り巻く環境は、少子化によるクラスの減で大きな財源となっている入会金が減少しております。少子化が進む現状から同窓会の将来を見据えたとき、さらなるクラスの減による入会金の減少で、同窓会を維持するための財政が危

機に瀕することが予想されます。こうした予想のもと、昨年度設置した財政検討委員会にて収入、支出のあり方を検討して頂き答申書を受領致しました。答申書への対応については総会にて承認を頂いたところです。新年度以降は、これを如何に具現化し実行していくかが課題となります。初めに取り組むのは全国各地にいる会員の皆様の現住所を把握することです。そのため各支部や修養会において参加された方々に同級生の現況の把握の状態を確認しながら名簿登載への了承を得ることと考えております。皆様のご協力をお願いする次第です。

最後になりますが、同窓生皆様のご健勝とご多幸を祈念して挨拶と致します。



『退任の挨拶』

同窓会 前会長 浅田 誠
(昭43年電気科卒)

晩秋の候、周りの山々にも初冠雪の便りが聞こえるようになり、9月初旬迄の連日の酷暑が遠い昔の様な今日この頃ですが、過般の台風や局地的集中豪雨の影響で多くの方々が被害に遭われたとの報道もある中で、同窓会員の方々が罹災されたとの報告はなく一安心しながらも、罹災された方々や関係する方々には本会を代表して衷心よりお見舞いを申し上げます。次第であります。自然界の猛威をまざまざと痛感したところです。

さて、この様な中であつて本年第116回(2023年)の総会は「役員改選」も含め重要な案件についてご承認を頂き、新体制でのスタートが出来る総会議案でありました。このような経過を踏まえ、私が会長職を拝命(第114回・2021年)してからの1期2年間の活動を総括してみますと、新型コロナウイルス禍にありながらも昨年10月15日に母校創立120周年事業の取り組みが行われましたし、その新型コロナウイルスも感染症法上の位置付けも「5類」に移行し、少しずつこれ迄の日常を取り戻しつつある中での活動環境となりました。

その様な中、本会の喫緊の課題としては、財政面、組織面での取り組みが求められ、財政改革を優先して取り組む事と

し、本年3月10日に「財政検討委員会」を設立し8月22日に答申書を受理し、物事は「隼より始めよ」の教えの基、役員会の同意を得て本会報の報告内容に着手したところでありまして、御了解の程宜しくお願い申し上げます。次の組織面での取り組み課題については全支部、全組織の全国的共通課題であり、妙薬を見い出しにくい状況下ではありますが、差し詰め「東京会工会」より広範・多岐の視点から種々の提案がありますので、新体制の基で検討を踏まえつつ、鋭意具現策を実行できるよう引き継いでいく所存であります。

以上の総括でも、現職就任時の誓いも道半ばで心苦しいところではありますが、自らの不摂生で本年春先に眼底出血し、長期療養を余儀なくされており、現職の継続は極めて困難な状況から今期をもって退任させて頂く失礼をお許し頂きたいと思ひます。1期2年間と短い期間で皆様方と充分なお付き合いも出来ず甚だ申し訳ない思いではありますが、これ迄のご指導・ご協力に心より感謝申し上げます。今後も微力ながらも協力していくことを決意しておりますので、引続きのご厚誼をお願い申し上げます。同窓会の今後益々の御隆盛と会員皆様のご健勝・御多幸を祈念申し上げ退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

令和5年度 財政検討委員会活動報告

◎令和5年3月10日 本部役員会代表5名、各修養会からの代表4名の計9名を選出し財政検討委員会を設立。

◎令和5年8月22日 答申書提出までの間、6回の委員会を開催。

1. 財政検討委員（敬称略）

No.	役 職	氏 名	卒年卒科
1	本部役員会代表	荒川富士雄	S43M
2	〃	渡部 哲	S52M
3	〃	長尾 好章	S50T
4	〃	田勢 光夫	S51A
5	〃	岩渕 浩之	S54L
6	建友会代表	鈴木 秀一	S54A
7	会工電友会代表	菊地 進	S47E
8	機友会代表	森田 哲郎	S55M
9	セラ友会代表	青山 孝男	S43K



浅田同窓会長に答申書を手渡す
荒川富士雄財政検討委員

2. 諮問内容

- (1) 収入財源の安定確保に向けた方策、取り組み方法
- (2) 支出において低減できるもの
- (3) 規約、規定の改定で財政健全化に向けた取り組み
- (4) 積立金の有効活用で財政安定化へ寄与する方策
- (5) 財政全般にわたっての健全化に向けた取り組みアイデア

3. 答申内容と対応策

◎歳入に関して

No.	答 申 内 容	対 応 策
1	同窓会活動協力金を1口2,000円から3,000円とする。	会報2024（令和6年11月発行）送付時に、3,000円 のお願いと1口3,000円の振込用紙を同封
2	役員を除く福島県在住の平成13年以前（おおむね 40歳以上）に卒業した同窓生に同窓会報と協力金 依頼文書、振込用紙を送付する。	該当する総数を把握し、発行部数を増やさずに送付 先の調整等で可能かどうかを調査し、実施する方向 で検討する。
3	会津地区の職域会工会 [※] にもっとアプローチし、連 携を図る。 ※三菱製鋼広田会工会、会工同窓会東長原支部（レ ゾナック等）、日曹金属化学、三菱マテリアル若松 製作所鶴友会	同窓会長、校長で表敬訪問を実施し連携を図りたい。

◎歳出に関して

No.	答 申 内 容	対 応 策
1	地域および修養会支部への助成金を廃止する。	各支部より聞き取り調査を行い、検討していく。
2	組織の統廃合を進めスリム化する。	各支部の現状と課題を把握し検討していく。
3	支部総会等における旅費等を削減するため、可能な 限り内容に応じた最低人数の出席とする。	十分に検討し、可能なところは来年度より実施し、 削減を図る。
4	総会懇親会、本部役員会懇親会等においては、必要 経費分を会費徴収し、可能な限り会よりの負担を削 減する。	速やかに対応する。
5	会報の発行部数とページ数を減らす。 （各部署で発行しているものと内容が重複している ので精査すればページ数は減らせられる。）	発行部数の削減は難しいが、内容は精査してページ 数の削減を図りたい。

第116回同窓会総会



第116回（2023）総会は、令和5年10月21日（土）ホテル「いづみや」にて開催されました。コロナウイルス感染症第9波蔓延中にもかかわらず53名の会員および、松本善法校長、渡邊忍PTA会長にもご出席いただき総会提出全議題、可決承認いたしました。総会終了後、写真撮影、懇親会へと進み盛会に終了しました。

以下、総会内容を報告します。なお、総会議事録は各支部へ発送します。 幹事長 木村洋一（S50K卒）
※支部に所属していない会員で議事録希望の方は幹事長（木村）まで 090-5356-6785

令和5年度事業報告（令和4年10月1日～令和5年9月30日）

会員相互の親睦を図り、母校と会発展のため以下の事業を実施した。

月 日	事 業	場 所	備 考
10/ 3(月)	会計監査	鶴翔会館	
10/ 3(月)	第3回本部役員会・懇親会	鶴翔会館・籠太	
10/10(月)	会工「吹奏楽部」定期演奏会	會津風雅堂	本部役員多数
10/14(金)	「会工電友会」総会	書面決裁	
10/15(土)	「若松会工会」総会	書面決裁	
10/15(土)	学校創立120周年記念式典・講演会	学校南体育館	
10/15(土)	第115回同窓会総会・懇親会（祝賀会）	ホテル「いづみや」	
11/ 1(火)	「2022會工同窓会報」発行		
11/10(木)	120周年記念同窓会名簿発刊		
11/25(金)	「猪苗代会工会」総会	梨の木	会長、幹事長、校長
11/26(土)	「会津美里会工会」総会	宮廼	会長、幹事長、校長
1/27(金)	第1回本部役員会	鶴翔会館	
2/28(火)	同窓会入会式・表彰式	学校南体育館	顧問、三役、監事、修養会会長
3/ 1(水)	会工「卒業式」	学校南体育館	顧問、三役、修養会会長
3/10(金)	財政検討委員会委員へ委嘱	鶴翔会館	会長、筆頭副会長、幹事長
4/ 7(金)	会工職員クラブ「歓迎会」	ホテル「いづみや」	顧問、会長、筆頭副会長、幹事長
4/10(月)	会工「入学式」	学校南体育館	
4/11(火)	学校創立記念講話	学校南体育館	
6/17(土)	「東京会工会」総会	上野「精養軒」	会長、幹事長、校長
6/18(日)	「東海会工会」総会	名古屋「味波」押切店	会長、幹事長、校長
6/23(金)	「建友会」総会	御宿「東鳳」	会長、校長
6/25(日)	「近畿会工会」総会	大阪 日本料理「八幸」	会長、幹事長、校長
7/ 1(土)	「機友会」総会	割烹「水林」	会長
7/ 8(土)	「セラ友会」総会	ホテル「いづみや」	会長、校長
8/22(火)	財政検討委員会委員から答申書受領	鶴翔会館	会長、幹事長
9/20(水)	第2回本部役員会・懇親会	鶴翔会館・糸びす亭	

* 郡山会工会、福島会工会、いわき会工会の総会は中止。

* 表記のほか、会報編集委員会2回、三役会議11回、財政検討委員会6回開催。

令和6年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出予算書

(自 令和5年10月1日～至 令和6年9月30日)

収入総額 6,400,000円
 支出総額 6,400,000円
 差引残額 0円

◎収入の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)－(B)増減	摘要
繰越金	1,898,345	1,812,343	86,002	前年度繰越金
入会金	2,000,000	2,000,000	0	新入生(200名×10,000円)
協力金	2,000,000	3,000,000	△1,000,000	会員より
総会費	500,000	500,000	0	総会会費等の収入
雑収入	1,655	1,657	△2	利息等
合計	6,400,000	7,314,000	△914,000	

◎支出の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)－(B)増減	摘要
総会費	500,000	500,000	0	総会関連費
会議費	750,000	750,000	0	各支部総会時のご祝儀、役員会補助
旅費	550,000	550,000	0	各支部総会時の旅費
事業費	700,000	700,000	0	広告代、各支部への助成
協力金諸経費	1,300,000	2,200,000	△900,000	サラトへの支払い等(会報発送料含む)
卒業記念費	180,000	160,000	20,000	C D代(校歌、応援歌、会工賛歌)
体育文化振興会助成	200,000	100,000	100,000	令和5年、令和6年分
慶弔費	30,000	30,000	0	香典等
消耗品費	50,000	60,000	△10,000	事務用品、他
印刷費	150,000	300,000	△150,000	会報印刷代(6,000部)
通信費	250,000	250,000	0	郵送代、電話代
事務費	100,000	200,000	△100,000	コピーカウンター料、他
基金・積立	250,000	200,000	50,000	定期預金
予備費	1,390,000	1,314,000	76,000	
合計	6,400,000	7,314,000	△914,000	

付帯決議 項目間の流用については、会長に一任する。

各支部への助成

・東京－10万 ・近畿－5万 ・東海－5万 ・若松－5万 ・福島－3万
 ・郡山－3万 ・猪苗代－3万 ・坂下－3万 ・いわき－3万 ・湯川－3万
 ・会津美里－3万 ・建友会－2万 ・会工電友会－2万 ・機友会－2万 ・セラ友会－2万

令和5年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出決算書

(自 令和4年10月1日～至 令和5年9月30日)

収入総額 5,980,470円
 支出総額 4,082,125円
 差引残額 1,898,345円

◎収入の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)－(A)増減	摘要
繰越金	1,812,343	1,812,343	0	前年度繰越金
入会金	2,000,000	1,970,000	△30,000	4年度2名+5年度195名
協力金	3,000,000	1,400,920	△1,599,080	活動協力金として
総会費	500,000	24,000	△476,000	120周年祝賀会参加増員分¥8,000×3名
雑収入	1,657	773,207	771,550	利息¥14、寄付金¥754,293、名簿購入¥4,900 120周年記念品売上¥14,000
合計	7,314,000	5,980,470	△1,333,530	

◎支出の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)－(A)増減	摘要
総会費	500,000	219,250	△280,750	総会関係費
会議費	750,000	373,846	△376,154	各支部総会時のご祝儀、役員会補助
旅費	550,000	626,160	76,160	各支部総会時の旅費
事業費	700,000	704,600	4,600	広告代、各支部への助成
協力金諸経費	2,200,000	950,079	△1,249,921	サラトへの支払い等(会報発送料含む)
卒業記念費	160,000	188,540	28,540	C D代(校歌、応援歌、会工讃歌)
体育文化振興会助成	100,000	0	△100,000	10月中旬に支出予定
慶弔費	30,000	53,812	23,812	香典、他
消耗品費	60,000	38,161	△21,839	事務用品、他
印刷費	300,000	450,450	150,450	会報印刷代(6,000部)
通信費	250,000	196,602	△53,398	郵送代、電話代
事務費	200,000	215,625	15,625	コピーカウンター料、他
基金・積立	200,000	0	△200,000	
予備費	1,314,000	65,000	△1,249,000	入会金返金(6名)、松江春次法要
合計	7,314,000	4,082,125	△3,231,875	

会工同窓会 積立金

令和5年9月30日現在

積立入金日	金額(円)					
① H27.9.28	100,060	会津信用金庫・本店	定期	口座番号	No.	1352340
② H30.7.24	100,022	会津信用金庫・本店	定期	口座番号	No.	1387072
③ R2.10.2	500,009	会津信用金庫・本店	定期	口座番号	No.	1410283
④ R4.12.7	10,114,870	東邦銀行・会津支店	定期	口座番号	No.	97-304979
①+②+③+④=		10,814,961 円				

会工同窓会会計・積立金 監査報告について

令和5年10月6日 収入調書・現金出納簿・預金通帳および
 支出調書等関係書類を調査照合の結果、適正に執行されている事を認めま
 したので報告いたします。

令和5年10月21日

監事

小山源昭



監事

二瓶正人



監事

鹿目忠明



福島県立会津工業高等学校同窓会 会長 浅田 誠 殿

感謝状贈呈



前会工電友会会長 鹿目忠明様 (S40E、右)

総会議事



第116回(2023)総会



質疑

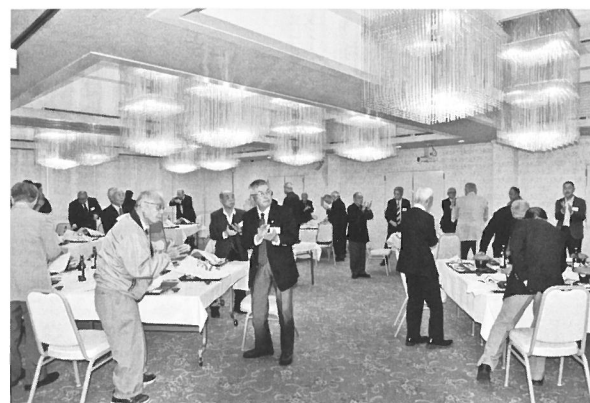
懇親会



浅田同窓会長挨拶



松本校長挨拶



《役員改選》

令和6年度、7年度 役員

顧問	若狭春生 (S38K) 本部選出	留任
顧問	藤田晴史 (S40E) 本部選出	留任
顧問	浅田誠 (S43E) 本部選出	新任
会長	荒井誠一 (S49A) 本部選出	新任
筆頭副会長	白井達夫 (S43E) 本部選出	新任
副会長	荒川富士雄 (S43M) 本部選出	留任
副会長	田中健一 (S42E) 東京会工会長	留任
幹事長	木村洋一 (S50K) 本部選出	留任
副幹事長	菊地壽雄 (S48D) 本部選出	留任
副幹事長	長尾好章 (S50T) 本部選出	新任
副幹事長	田勢光夫 (S51A) 本部選出	新任
副幹事長	渡部哲 (S52M) 本部選出	留任
副幹事長	森田哲郎 (S55M) 本部選出	新任

※本部役員の就任年度は総会翌日から翌年総会日までとする。

監事	小山源昭 (S38A) 前建友会会長	留任
監事	近藤信行 (S40E) 本部幹事	新任
監事	栗城和夫 (S41M) 前機友会会長	再任

※幹事、会計、参与は会報末尾本部役員表に記載。

《役員紹介》

松江春次顕彰会 会長

若狭春生 (S38K) 退任
藤田晴史 (S40E) 就任

同窓会規約改正

現行	改正
第6条 顧問、参与 1. 会本部に顧問および参与を置くことができる。 2. 顧問および参与は会長が委嘱し、総会で報告する。 3. 顧問はすべての会議に出席して、意見を述べる ことができる。	第6条 顧問、参与 1. 会本部に顧問および参与を置くことができる。 2. 顧問は会長退任者が就任し、参与は会長が委嘱 する。 3. 顧問はすべての会議に出席して、意見を述べる ことができる。
第7条 本部役員 1. 会長・副会長は幹事の互選により選出し、総会 の承認を得る。 2. 副会長1名を筆頭副会長とし会長が任命する。 3. 幹事長及び副幹事長は会長が指名し、総会の承 認を得る。	第7条 本部役員 1. 会長・副会長・幹事長及び副幹事長は、本部役員 より選出し、総会の承認を得る。 2. 副会長1名を筆頭副会長とし会長が任命する。 3項を削除する。
	付則 一部改正 令和5年10月21日を加える。



本校着任2年目を迎えて

校長 松本 善法

同窓会会員の皆様には、日頃より母校の教育活動に御協力と御支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。また、令和5年2月28日の同窓会入会式では、230名の新たな同窓生を温かく迎えていただき、ありがとうございました。令和5年度は、新入生200名を迎え全校生徒585名（男子481名・女子104名）、全教職員83名の合計668名で教育活動が始まりました。

昨年度は、創立120周年記念式典をはじめ記念事業が執り行われその際には、浅田会長をはじめ多くの同窓生の皆様方からの御支援と御協力を賜りましたことに感謝申し上げます。また、今年度は、東京会工会、東海会工会、近畿会工会など各地区の同窓会総会がコロナ前の状態に近い形で開催ができましたこと、そしてその場に臨席させていただきありがとうございました。同窓生の方々と懇談することで長い学

校の歴史や伝統について教えていただく良い機会になりました。改めて本校が卒業生から多大な御支援を受けていることや地域の方から大変期待されている学校であることを益々実感した次第です。

現在4学科5クラスとなり、学科やクラス数が減少してきましたが、長年地域の産業に深く根差してきた学校であります。これからも社会の情勢に流されず、会工としての「社会に貢献できる人材の育成」に努めていきたいと考えています。

結びに、同窓会の皆様には、本校の発展のためになお一層の御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、会工同窓会の益々の御発展と御健勝を祈念し、挨拶いたします。

支部会

東京會工会 東京會工会総会―剣道部 OB55年振りの再会―



副幹事長 渡部 雅俊
(昭和44M卒)
令和5年度東京會工会総会が、去る6月17日（土曜日）に上野精養軒において、松本善法会津工業高校校長、浅田誠同窓会会長他の来賓の皆様を迎えて開催されました。出席者は47名と昨年度に比べ



令和5年度 東京會工会総会
令和5年6月17日 上野精養軒

増えましたが、100名以上が出席していた過去を思い起こすと寂しい感じがしました。また、今回初めて屋外で記念撮影を実施しました。

第2部の懇親会では、松本校長先生から、学科改編（建築インテリア科40名、セラミック化学科40名、機械科80名、電気情報科40名）が完成したと報告がありました。私の在校時代は10科の他に産業科があり、1学年500名程在籍していましたので、当時を考えると生徒数は半分以上になってしまいました。これも少子化の影響で県内では高校の統廃合が行われ、母校の名前が消えた高校もありますが、創立120周年を迎えた母校の伝統と歴史に誇りを持ちたいと思います。

浅田同窓会会長からは、昨年実施されました創立120周年記念事業に協力して頂いたお礼と、今期で退任するとの報告がありました。私個人としては残念な思いです。と申しますのは、浅田会長は剣道部の1年先輩だからです。

ところで、昨年11月に発行された同窓会名簿を見ていたら、首都圏在住で当時（昭和42）44

年卒）の剣道部の先輩を見つめました。浅田会長が総会に出席すると、先輩方に声を掛けましたら、二人の先輩から出席の返事を頂きました。約55年振りに剣道部OB永山一男氏（42K）、栗田実氏（43L）、浅田誠氏（43E同窓会会長）、渡部雅俊（44M筆者）が再会しました。これも同窓会活動に参加していたからだと思っています。

当時の剣道部は鶴ヶ城内の武徳殿で稽古をしていました。入学後の5月の連休までは、2年生の引率で、東山の羽黒山神社まで毎日マラソンで体力作り。お堂のある場所までは約1,200段の階段があり、今考えると毎日良く登ったと思います。



再会した剣道部OB:左から筆者(44M)、浅田会長(43E)、永山氏(42K)、栗田氏(43L)

また、グランド脇にあった合宿所での夏合宿が、辛かったが良い思い出として残っています。先輩方と、その様な昔話に花を咲かせ楽しい時間を過ごす事が出来ました。

東京會工会も昨年、110周年を迎えました。喫緊の課題は会員を増やすことです。しかし、同窓会名簿を見てみても、昭和40年代後半からの卒業生は卒業時のままの住所となっています。如何にして卒業生の現住所を把握するか、その方法を検討する必要がありますか、と思います。是非、本部同窓会で検討して頂きたいと思っています。

他の地域同窓会（郡山・東海・近畿など）も同様だと思います。母校と同様に同窓会への帰属意識を高める情宣活動が必要ではないでしょうか。先ず、各同窓会団体が、母校のホームページを活用し各同窓会の活動や取り組み等を発信すれば、理解が深まり、同窓会にも参加しやすくなると思っています。そして、一人でも多くの同窓生が参加すれば、会津工業高校同窓生の絆も更に深まると確信しています。是非、各同窓会が最新情報の発信を積極的に取り組ん

で頂ける事を願っています。
なお、総会の詳細は、同窓会ホームページをご覧ください。

東海会工会 1本の電話 「楽しみな同級会」

副会長 早川 茂
(昭和46A卒)

昭和46年3月10日、愛知県刈谷市の建設会社就職し早いもので52年の歳月が経過しました。入社した会社にて定年までの47年間お世話になりました。幼い頃から物作りが大好きで、将来の夢は躊躇なく「建築技師」と言っていたのを覚えています。

入社当時ある先輩に「建物を造るのは設計図に基づいて造る訳だが、それ以上に自分の考え、拘りで自由に造る事が出来る「やりがい」のある仕事なんだ」と教えられました。そう助言してくれたのが現在の東海会工会の会長、三井正春氏でした。現場一筋を全う出来たのは先輩の影響と、好奇心・向上心を持ってやってきたからと思っています。

平成29年11月の誕生日に65歳の定年を迎え自主希望で退職しました。当時は仕事の責任感が

質実剛健

ら解放されたい気持ちが強かったのです。退職から2か月ほどぶらぶらの日を送っていました。いつも家にいるので世間の目が気になりだし「これではまずい」と職探ししていた時に前の会社から話があり、月に数日で70歳までの5年間という事で私の希望と一致したので再びお世話になりました。そしてついに51年間の勤務に幕を下ろしたのです。年金生活の昨今は悠々自適な生活です。毎日朝夕の愛犬との散歩、町内のラジオ体操。今一番の楽しみはメジャーリーグのテレビ観戦です。以前から大谷翔平選手の熱狂的なファンで、殆ど見逃すことなくテレビの前で一喜一憂しながら応援するのが毎日の日課となっています。趣味のゴルフは月数回、練習も



週1程度はやっていますが全然上手になりません。今年4月から親しい先輩に誘われてグランドゴルフを始めました。やってみるとこれが楽しい。週3回で1回3ゲーム、時間は2時間程度。80代の方が殆どで、皆さん元気で大変お上手な方ばかりです。毎回刺激をもらって頑張っています。

近畿会工会 雑感

会長 石川 善一
(昭39 E卒)

近畿会工会総会が6月25日、3年振りに大阪市の八幸で開催されました。令和元年に中国武漢で確認された新型コロナウイルスは世界中に拡散しました。治療薬、ワクチンもなく、緊急事態宣言が4月に発令され、全国に行動制限が施行されました。同窓会、各種集会等活動は無理となり、緊急事態宣言も数多く発令され、新型コロナウイルスも6波となりました。今年になり収まりかけ、総会は開催出来るかなと思いましたが、会員もこの3年間に大竹・黒川両先輩の重鎮がご逝去、他のご先輩方も体調不良等で出席

でもまならず開催は無理かなと思いました。本名事務局長に本部に問い合わせてほしいと相談した結果、二人だけでも開催すべきとなり急遽開催する事となり、会員を招集、何とか5人の出席となりました。当日日本より浅田会長、木村幹事長、東京会工会堀副会長、東海会工会佐藤会計幹事長、本校より松本校長の来賓を迎えて10人で楽しいひと時を過ごす事が出来、久しぶりの実りのある総会となりました。近畿会工会も会員の高齢化が顕著で、総会への出席可能な人は5人程しかおらず、来年あたり同窓会の廃止を考えたが、しかし本部から慰留され、もう少し先延ばしする事にしました。近畿・東海会工会の合体も提案してみてもいいかなと。大阪・名古屋の隔年開催案。近畿会工会の東海会工会への吸収案とか10月の本部同窓会総会に相談してみようかなと考えている。

さて私事ですが、昭和39年春大志をいだいて会津を後にして59年、大阪に定住しました。1年前に仕事をリタイアしました。延べ57年間、仕事をした計算になります。現在のはのんびりとテレビとのつき合いです。

若松会工会 同窓会との関わり

会長 石田 功
(昭43 G卒)

2021年、浅田前若松会工会会長から突然に任を引き継いでいただけないかとの連絡があり、戸惑いましたが歴史ある若松会工会の任を引き継ぐことといたしました。同窓会に関してはまだまだ期日が浅い私ですが、諸先輩、会員の皆様のご協力を得ながら微力ながら大任をしっかりと繋いでいきたいと思ひます。はじめての寄稿となりました。どうぞよろしく願ひいたします。

私と同窓会の関わりは、10年間単身で勤務しておりました、

REPORT & MESSAGE

栃本市にあります。同科卒業の同級生からの誘いであります。近くに3名の同級生がおり、赴任したおりに連絡を取ったところ、東京会工会が有るから参加してみたらと言う連絡でした。興味を持ちながら上野精養軒にて参加致しました。東京会工会田中会長より大歓迎を受けて会員皆様にも紹介していただき大歓迎して頂き感激して、その後しばらくぶりに会った同級生と上野の中華料理店で数時間飲み続け、足をもたつかせて帰ったところでした。又、精養軒では本部同窓会から若松会長ならびに木村幹事長、二瓶賢一校長などがお見えになりご挨拶頂き、その際に前浅田会長もお見えになったと思います。

席上、若狭本部長、前浅田会長より若松会工会にも入会してくださいとお声をかけていただき、この年の10月からの本部同窓会総会からの参加であります。若松会工会では幹事に任命していただき総会前の会計監査に携わり、役員会にも参加させて頂き少しずつ勉強させて頂きました。会長職に任命いただきながら、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、収束が見通せない中、受け継いだ事業も思うよう出来ない状態です。若松会工会総会も出来ない状態の中、ま

坂下會工会 新入生へ記念品を贈って

会長 渡部 正司
(昭47 D卒)

なく別開催されたいいかがですかと意見が出ましたが、何分21名の本部役員が任命を受けており、役員会で議論になり困惑しております。今後とも歴史ある若松会工会の発展にご尽力いただきたく、役員共々引き続きのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



記念品贈呈式に臨んだ生徒、校長、会員。

はじめ関係先生方に立ち会って頂いた。

本校の教育目標の一つに「真理の探究・真理を愛し、これを探究してやまない科学的探究心を高揚する」があり、工業技術者としての探究心を持つてほしいとの願いを込めて挨拶に引用させて頂いた。同席した本会の武藤寛副会長は、SL通学した自らの体験から、会工でのあらゆる事が今なお時を超えて大いなる記憶として鮮やかに残り、礎となっていることから、会工高生活を精一杯、励んでほしいと激励。生徒代表として長谷川樹さんが『夢をつかむよう

頑張ります』とお礼の言葉を述べた。力強い挨拶に、半世紀前の我々の時と比べ格段にしっかりとした若者達との印象を受ける。ICTの発達で、工業技術も進歩し、授業内容も進化し続けている。学校も、教員も、そして学ぶ生徒もあらゆる日常が進化し続けている。そのような中にある、高校生活ならではの友と共に同世代を紡ぎ駆け巡り、目標に熱中して得られる熱いものは揺るがぬ財産になることは間違いないだろう。また、同窓会は、単に当時を懐かしむことばかりでもなく、新たな歩みの原点となって明日へと続く生命感溢れるものである。同窓生のみならず、新入学生諸君の限らない前途洋々たる探究心を祝福する。

いわき会工会 10周年記念式典開催

会長 梅宮 昭
(昭39 A卒)

今年は日本全国各地で天候不順による線状降水帯が発生して、大雨災害が相次ぎ大変でしたが、皆様如何でしたでしょうか。いわき市でも9月8日、9日にかけて発生し災害になりました。

至誠勤労

初志貫徹

幸いにもいわき会工友会会員の中には被害者が無く安心して居るところです。各地での災害にお見舞いを申し上げます。

昨年、いわき会工友会の総会が高齢者が多い事でコロナ感染の危険性から参加希望者が少なく開催が出来ずに残念でございました。今年は、設立以来10年目に入り、11月11日(土)に10周年を記念する総会を開催することになりました。久しぶりに会員の皆様にお会い出来る事を楽しみにして居ります。

いわき市の会工友会は戦後、日本化成、呉羽化学、二大企業の採用が始まったことで、二大企業の内部で同窓会が行われました。他社には普及せず、一部建築科卒業の方が中心になって設備会社勤務の方々を誘い1、2年ごとに会合を開催して居りました。二大企業では昭和50年前後には、会津工業高校からの採用が少なくなり、同窓会の活動が次第に少なくなって来た様です。

そこで昨年(2022年度)の会報にも載せて頂きましたが平成24年、当時の若狭会長(現顧問)から「いわき会工友会」の設置を依頼され、当時、会津美里町会工友会の荒井誠一幹事長(現会長)の御指導の元、いわき在住の建築、電気科出身者が

中心となつて同窓会名簿から昭和21年以降の150名以上の存在を見通して、6か月を掛け二大企業を含む110名の在住者を探し出して封書の通知を送りました。平成25年6月に設立総会(同窓会役員3名、校長先生、会員12名、合計16名)を開催することが出来ました。

現在、設立が一番新しいいわき会工友会ですが、80歳以上の方々(転勤等の住所不明、物故者を含む)が当初の73%を超え、今後の会の運営を心配して居る処です。しかしながら、今回の10周年記念には71歳、66歳の方が各1名参加して頂くことで少し安堵している処です。これからは残された若い方々と共に10年前作成の会員名簿を参考に、新たにいわき市に住まわれた方、移住された方々を再度検索し、名簿作りから増員の再計画を行うつもりで居ります。

全国同窓会の皆様からの移動者情報のご提供を宜しくご協力ください。様お願い致します。



建友会

会長 白井 武男
(昭45A卒)

1. 建友会総会・懇親会の報告

皆様、いつものご支援とご協力に心より感謝申し上げます。この度、我々建友会の総会と懇親会が、皆様の温かな参加とご支援のもと、無事に終了いたしました。参加してくださった皆様の支えがあったことを深く感謝申し上げます。

総会では、新たな年の計画と活動について話し合い、今年度の目標とビジョンを再確認しました。今後とも、会工同窓会と建築科の支援、建築を通じた地域の活性化に向けた新たな目標に向けて歩みを進めてまいります。

懇親会では、新旧の絆を深め歓談と笑顔で溢れ、華やかな時間となりました。特に、新型コロナウイルスの大きな試練を乗り越えての4年ぶりの開催となりましたが、休会中の72回生から74回生までの新人たちが6名出席してくれました。彼らの新しい風と情熱は、会場に刺激的なエネルギーをもたらし、今後の建友会が新しい展望と希望を持って迎えられることを実感しました。

さらに、恩師・多くの賛助会員の方々も参加してくださり、その恩師の方々・賛助会員の方々と同じ場を共有できたことは、私たち建友会にとって非常に心強い瞬間となりました。

特筆すべきは、今年で93歳を迎える竹島先輩が先月の建友会ゴルフコンペに参加し、その活力に満ちた姿を我々に示してくれたことです。また、我々のリーダーである青島先輩と小林先輩には、それぞれの米寿を祝し、

記念品を贈呈させていただきました。このような瞬間瞬間が、私たち建友会の絆をさらに深めるものとなっていくと思います。

2. 令和4年度建築インテリア科卒業設計作品作成報告



昨年度に引き続き建築インテリア科の令和4年度の「卒業設計作品集」を制作・発刊致しました。発刊にあたり賛助会員・会員の皆様から多大なる支援を賜りありがとうございました。また制作に於いて教員・生徒・建友会との情報の共有さらに連携することで交流が希薄になりがちなコロナ禍に於いても、ますます強まってきたと実感しております。

3. ゴルフ部会の報告

今年度は「建友会」ゴルフ部会を「建友会・会工友会」有志のゴルフ部会として拡大、5月・7月に行ない、9月の土曜日に3回目を開催致します。5月・7月の2回とも第1回卒の竹島先輩が元気で参加致しました。

会工電友会

事務局長 白井 達夫
(昭43E卒)

今後とも、私たち建友会は、一層の発展を目指してまいります。皆様からのかわらないサポートとご協力を心よりお願い申し上げます。

会工電友会は平成7年(1995年)電気科50周年記念行事を契機に設立され、近年では、春に「史跡探訪」・夏には「施設見学会+納涼祭」・秋の「定例総会」等の会員参加行事と、3月には会報「電友会だより」の発行と「卒業生への記念品贈呈」などを定例的に実施してきました。しかし、コロナ禍により令和2年から会員参加行事を自粛し、「定例総会」も会員を招集せず書面での報告に変えざるを得ませんでした。

◆令和5年(2023年)の定例総会とは?

(下記は同窓会報原稿提出時の、8月末の予定です) 10月20日(金) 午後5時「ホテルいづみや」で開催。役員改選期であり、新体制で温故知新の精神で充実した活動を模索していきます。

◆会報「電友会だより」



電気科閉科式

毎年3月に定期発行を続けています。今回も会員からの寄稿・近況報告とともに、「電気科」「電気情報科」の生徒や先生からも寄稿いただき、会員や関係者の皆様にお届けすることができました。寄稿いただいた電気情報科の志田博隆主任先生はじめ生徒代表の皆様に感謝申し上げます。

◆「電気科」閉科

令和5年2月28日に電気科閉科式が実施されました。令和3年度(2021年)の電気情報

科の新設に伴い、昭和20年(1945年)4月に設立された電気科(前電気通信科)、平成元年(1989年)4月に設立された情報技術科が募集停止され、令和5年3月の卒業生が電気科として最後の卒業生となりました。

◆新生「電友会」を目指して

前述のとおり電気科が閉科となり今後は電気情報科の卒業生を新たな構成員として迎えることとなりますが、「電子科」「情報技術科」卒業同窓生の皆様、是非、活動を共にしませんか? 年会費@1000円。ご意見&吉報をお待ちしております。
E-mail: t-shirai@agate.plala.or.jp

機友会

会長 荒川 富士雄
(昭43M卒)

今年の2月28日、卒業生を迎える後輩達の入会式を、通常通り本校の4階会議室で実施し、入会記念の品を贈ることができました。

コロナ禍対策も5類になって行動制限が緩和された事により、



私達機友会の総会も、浅田会長をはじめ、各修養会の会長さん等多くのご来賓をお迎えして7月1日に開催することができました。

セラ友会

会長 梨子本 傑
(昭41K卒)

●定期総会2023開催

令和5年7月8日、会津若松市のホテルいづみやで開き、24回目を祝った。58人が出席し校歌を斉唱し、梨子本会長があいさつ。本部同窓会への支援・協力や研修会並びに在校生の支援、会員による作品展、会報発行など今年度事業計画を決めた。今年度は役員改選にあたる年度で一部入れ替えをしておおむね再任となった。次回の役員改選時には会長をはじめ三役の若返りを図る事も了承された。

総会後の講演はヨードル歌

REPORT & MESSAGE

威風堂々



セラ友会定期総会2023

31日(月)までの4日間、会津若松市「會津稽古堂」の市民ギヤラリー・一階ホールを会場で開催。会員・セラミック化学科生徒作品のほか、会員の発表会や本会の名誉顧問であった故・吉田一榮氏の功績紹介や松江豊寿・春次兄弟の写真・資料展示、板谷波山・まるとに関する作品資料展示を行った。

●入会式

2月28日母校のセラミック化学科の教室にて行われた。同科名は窯業科から昭和61年にセラミック科、平成20年4月に名称変更を経て、セラミック化学科として13回目の卒業生となった。卒業生38名が入会した。コロナ禍を過ぎて通常の開催となり役員6名と事務局の科職員の方々の参加で開催することが出来た。梨子本会長歓迎のあいさつ後、本会より入会者全員に会報と記念品を代表して木野大誠さんに贈呈し、席上渡辺大愛さんには会長賞を、昨年会工創立120周年記念事業の際において尽力された前生徒会長の猪瀬萌さんと記念誌「会工賛歌」の表紙デザインに採用された浦川鈴さんのお二人に特別賞の感謝状を授与いたしました。



●会報2023・第20記号発行
令和5年5月末に発行。部数300部。会長をはじめ昨年度の活動内容、会員の会員らの寄稿。また、同校セラミック化学科の活動などを掲載。設立24周年に關しての記事も盛り込んだ。

●研修会

○秋のミニ研修会 『会津鉄道「トロツコ展望列車」とJRR只見線沿線巡り』

会津鉄道(株)のご協力によりトロツコ展望列車を利用し南会津までの景色を眺め、駅を下車しバスにて南会津郡役所、鴨山城跡、中荒井のザル菊鑑賞、その後昭和村に移動し喰丸小学校とイチヨウを観て金山町に向

い、その途中の峠の紅葉がすばらしく一番の見頃であった。金山町では只見沿線・第六橋梁、東北電力奥会津水力館「みお里」、かねやまふれあい広場からの只見川沿いにある大志部落を眺めながら、名所や紅葉を満喫し充実した研修を終え見聞と交流・親睦を深めることができた。

○春のミニ研修会『陶芸家『板谷波山』の妻「板谷まる」の生家を訪ねて』

セラ友会設立24周年と会報25号発行の記念として実施し、まず会津坂下町埋蔵文化センターを日本考古学会会員の吉田博行先生より埋蔵文化財の意義・保存等説明を受ける見学研修。次に近代陶芸の巨匠で陶芸家として初めての文化勲章を受章された『板谷波山』の妻「板谷まる」の生家を巡るというミニ研修となった。

東長原支部

支部長 大塚裕一郎
(平3C卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び

申し上げます。

会工同窓会東長原支部は、株式会社レゾナック東長原事業所の敷地内に立地する企業で働く、会津工業高校卒業生で組織されています。

会員数は令和5年6月現在で86名在籍しています。

活動は会員相互の親睦を図るため、毎年春に総会、秋に芋煮会を開催していましたが、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症拡大リスク回避および会員の健康を考慮し、開催を断念せざるを得ない状況が続きました。

今年は、新型コロナウイルス感染症法上の分類が、季節性インフルエンザと同じ5類に移行し、5類移行後の趨勢も鑑み、懇親会開催を幹事会で決定し、7月に開催することができました。

懇親会には、令和5年の卒業生2名を含む30名の皆様に参加頂くことができました。

交代勤務など業務の都合上、出席することができない方もおられました。2019年4月以来4年ぶりに開催することができました。

久しぶりの開催で企業間を超えて交流ができるか不安もありましたが、無事に終えることができました。開催して良かったと感じています。

各支部の皆様にかかれまして

REPORT & MESSAGE

は、新型コロナウイルスの感染者が増加している中で、アフターコロナ禍で活動を如何に再開していくべきか悩みながら模索されていることと推察いたします。

新型コロナウイルスが無くな

った訳ではありませんが、このウィルスを適正に怖れ活動再開に向けシフトしていく必要があるのではないかと考えます。各支部の皆さん、共に頑張りましょう。

以上

※昭和電工株式会社は、令和5年1月1日に昭和電工マテリアルズ株式会社と統合し株式会社レゾナックに社名が変更となりました。

三菱製鋼(株)広田製作所会工会

会長 珊瑚 優治
(昭59C卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

この会は、三菱製鋼広田製作所に働く会津工業高校の卒業生で構成されています。

年間の活動としましては、花見、暑気払い、忘年会、総会と

OB会

會工元氣会 第26回「會工元氣会」 総会2023

会長 新國 基次
(旧職員)
庶務 梨子本 傑
(昭41K卒)

この会は会工に在職した退職教職員で組織し、会員相互の親睦を図る目的で開催しています。



クラス会

第34回健友会会員 還暦の集い

幹事 倉本 浩二
(昭57A卒)

この度、会津工業高校第34回健友会会員が、還暦を記念して同級会(還暦の集い)を開催しました。

この会は、高校卒業以来40年



以上に渡り地元の有志が毎月無尽で集まり、年に一度は各地に旅行をして親睦を深めてきました。今回は地元を離れ就職した同級生も参加しました。

・令和5年9月17日(日)

・東山温泉「御宿東鳳」にて

・恩師(蒲生先生)を含めて17名参加(下段右から4番目)

・恩師とは卒業以来の再会で、記念品には同級生(本郷焼き白鳳堂五代目富三)の作品をプレゼントしました

・二次会でカラオケをしその後は部屋での三次会で盛り上がりました

・次回は10年後古希祝いでの再会を誓って解散しました

温故知新

今年度受賞・活躍された先輩

全日本UJボクシング 出場者指導



全日本UJボクシング出場 郡司皇牙さん(若松二中)

日本一の座 拳でつかむぞ

会津若松市のウェルネス会津ボクシングセンターに所属する郡司皇牙さん(若松二中一年)は、全日本UJボクシング王座決定戦東北代表選考会の中男子33kg級で優勝し、25日かみ入で開かれた東西王座決定戦に挑む。絶対勝つという強い気持ちで臨む。夢の日本一に向け燃えやがっている。

「強い気持ちで臨む」

東日本代表選考会が7月15日から17日まで水戸市で行われる試合に臨む。郡司さんは、初戦で若松市出身の選手と対戦し、初戦で勝利を収め、自身「C級」が郡司さんに与えられた。郡司さんは、初戦で勝利を収め、自身「C級」が郡司さんに与えられた。郡司さんは、初戦で勝利を収め、自身「C級」が郡司さんに与えられた。

令和5年8月2日付 福島民報社
遠藤広大(平15A卒)

東京箱根間往復大学駅伝3冠に導く



「感無量のプレゼント」

大八木監督の歩みと駒大・大八木監督退任へ。3年ぶり8度目の総合優勝を果たし、選手に贈られる駒大の大八木監督退任記念品(代表撮影)。

大八木監督の歩みと駒大・大八木監督退任へ。3年ぶり8度目の総合優勝を果たし、選手に贈られる駒大の大八木監督退任記念品(代表撮影)。

令和5年1月4日付 福島民報社
大八木弘明(昭52T卒)

偉業導く最後の「げき」

偉業導く最後の「げき」。大八木監督の偉業を導く最後の「げき」。

令和5年1月4日付 福島民報社
大八木弘明(昭52T卒)

今年度受賞・活躍された先輩

瑞宝単光章・県文化功労賞受賞

芸術・環境保全に功績 県文化功労賞の2氏



会津本郷焼の6代目窯元。会津本郷焼伝統工芸士会長として、約400年の伝統を誇る焼き物の産地振興や若手窯元の育成に努めている。会津本郷町(現会津美里町)出身。会津工業大学工学部卒。

会津本郷焼 振興担う



会津本郷焼の振興を願う佐藤さん。会津本郷焼の振興を願う佐藤さん。

令和5年11月3日付 福島民報社
佐藤 幹(昭41G卒)

瑞宝双光章

市区長会長などを歴任



会津若松市出身。会津若松市出身。

令和5年11月3日付 福島民報社
渡部 洋子(昭32K卒)

令和5年10月5日付 福島民報社

日展工芸美術特選

岩淵さん(若松)特選 工芸美術展



粉をあらうなど細部まで繊細に仕上げた。審査員からは「漆技術が巧みに駆使され、漆の美しさが堪能できる秀作」と評価された。



特選に輝いた岩淵さんの作品「円舞」

令和5年10月23日付 福島民報社
岩淵浩之(昭54L卒)

瑞宝単光章

安全安心確保にまい進



会津若松市出身。会津若松市出身。

令和5年11月3日付 福島民報社
五十嵐 幸夫(昭57K卒)

セラ友会 作品展開催

陶芸や絵画など並ぶ



会津若松市セラ友会。会津若松市セラ友会。

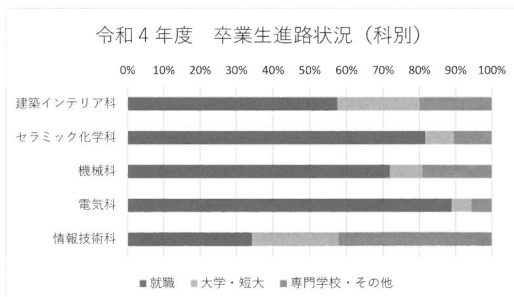
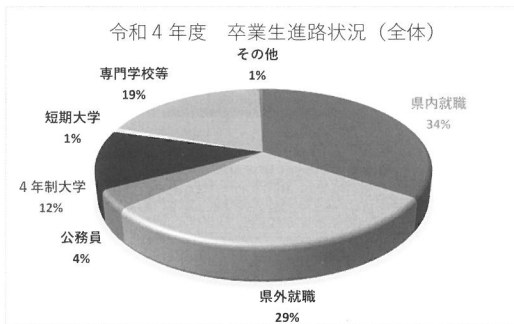
令和5年7月30日付 福島民報社

進路指導部から

主任 佐藤 聖

同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援いただき誠にありがとうございます。さて昨年度の進路状況をまとめましたのでご覧ください。

就職者の合計は155名でした。このうち民間就職内定者は146名で、卒業生徒の約63%となり、例年通りの結果となりました。求人数については約1300件と例年通りの数値となりました。深刻な労働力不足のため、製造、建設、電気関係など多くの産業で求人が増えているようです。



公務員については、9名合格し、人気の高い職種は国家公務員(国家三種)という傾向が見られました。進学者の合計は74名でした。専門学校の割合が高く、大学・短大の割合は下がりました。進学者全体の割合は昨年とほぼ同数でした。国公立大学は会津大学1名、会津短期大学1名、室蘭工業大学1名と合計3名の合格となりました。大学進学者は指定校推薦が多く、工業系の学部に進んでいます。工業高校で学んだスキルを向上させ、将来的に専門性を活かした企業への就職を考えているようです。専門学校進学者は、工業関係以外の分野へ進学者の生徒も多かったようです。

最後になりましたが、今年度も生徒全員の希望進路実現に向けて全教職員が一丸となつて取り組んでいきたいと思ひますので、同窓生の皆様も変わらぬご支援・ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

令和5年度卒業生

3学年主任 大塚 正幸

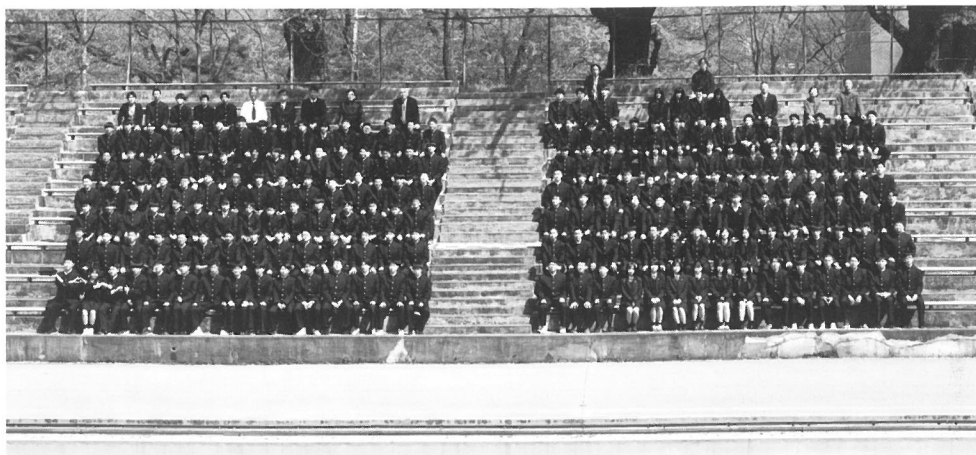
全国の会工同窓生の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。また、本校の教育活動に日頃よりご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、令和3年4月8日に入学を許可された生徒も、令和6年3月1日には卒業を迎えることになりました。

新入生の代表が「将来の夢をかなえるために毎日を悔いのないように過ごして、精一杯高校生活を送ること」と誓いましたが、この3年間で多くの生徒達は、ずいぶんと高校生らしく、会工生らしくなってきたようです。各自とも勉学や部活動、資格取得などに向けて、それぞれの目標を持ち日々取り組んでいたようです。中には自分の目標が決まらずに、どうすればよいかわかっていた生徒もいるようですが、近いうちに自分の進む方向を見つけてくれるものと思ひます。

生徒達は現在、9月よりの就職・進学の実験に向けて、様々な手続、受験準備に取り組んでいます。この努力が報われ、自分の希望進路を実現して、晴れやかな気持ちで卒業を迎え、高らかに校歌を歌つて同窓生の仲間入りをして欲しいと思つております。

そして、卒業後には、皆様の頑張っている姿を、いろんな場面で見られることを楽しみにしたいと思います。「頑張れ頑張れ頑張れ健男児 栄えある健児よ・・・」がんばれ応援歌より



中堅学年として

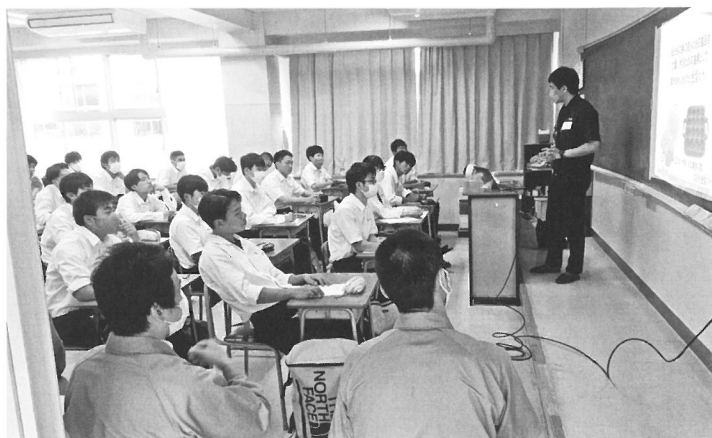
2学年主任 石崎 晃

同窓生の皆様には常日頃から大変お世話になっております。昨年、本校120周年の入学式としてスタートし、早一年が経ちました。新しい制服となり、世紀を越えた古い伝統と新しい歴史を作る学年を目標に、中堅学年として現在頑張っているところです。

さて、今年5月から新型コロナウイルスの対応も5種の扱いになり、諸行事や大会も4年ぶりに対面で実施できるようになりました。また、昨年の入学式からマスク着用での学校生活から、少しずつではありますが生徒の素顔と声を交わす4年前の姿に戻りつつあります。特に2学年の大きな行事である修学旅行は、10月中旬に姫路城をはじめ関西方面で実施します。

今現在、日本国内の名勝地がインバウンドで大変賑わっている様子で心配な面もありますが、生徒たちにとって収穫の多いものになるよう願うばかりです。各部活動の大会でも、中堅学年として、また新人メンバーの要として、酷暑の夏休みから活動しているところです。是非大活躍し、かつて会津の雄と恐れられていたころにまた戻ってほしいところです。

地域と連携した学習として10月初めにインターンシップが行われます。進路を意識した就労体験と企業理解、働くことの意義等を学習してほしいと思つていま



令和5年度新入生

1学年主任 加藤 善範

全国の会津工業高等学校同窓生の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。また、本校の教育活動に日頃よりご支援をいただき誠にありがとうございます。

令和5年4月10日、新入生200名が松本善法校長より入学を許可されました。中学校時代のほとんどをコロナ禍のため活動に制限を受けてきた生徒達です。この3年間というものの、本校でも多くの行事が延期や中止を余儀なくされてきました。

今年5月、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類となったことで、3年間行われなかった応援練習をはじめ、様々な行事が再開されたことは、新入生にとって喜ばしいことであり、これからの高校生活をより有意義に過ごすことができるという点でもよかったです。しかし、3年間のブランクは大き



「松江賞」「同窓会賞」受賞!!

松江賞

建築インテリア科
栗城 美胡琴



機械科二組
菊地 彩奈



建築インテリア科
芳賀 凌真



機械科二組
小板橋 綾杜



セラミック化学科
折笠 眞緒



電気科
佐藤 広生



セラミック化学科
坂内 菜月



電気科
若桑 大翔



機械科一組
小峯 晴希



情報技術科
青木 伶奈



機械科一組
齋藤 優季



情報技術科
和田 陽佑



令和4年度卒（令和5年2月28日授賞式にて）

同窓会賞

平和の覇者を育みぬ。

学び舎 ロケーション① 専門課程は、いま。

校歌から



建築インテリア科

同窓会の皆様、特に建友会の方々には日頃より大変お世話になっており改めて感謝申し上げます。今年度も建築インテリア科の生徒は、県の事業である「福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業」や、「森林環境学習推進事業」に取り組み、建友会の



方々にアドバイスとご協力を得ながら取り組んでおります。令和5年3月31日付けで定年退職された菅家慶広先生は、喜多方桐高校で再任となりました。今年度新採用教諭として、菅野隼先生が赴任されました。今年度の建築インテリア科の関係職員は以下の通りです。よろしくお願いたします。

【建築インテリア科関係職員】
長谷沼 徹
（再任用2年目で主任）
佐藤 聖（進路指導主事）
渡辺 学
（建築インテリア科1年担任）
菅野 隼（新採用教諭）
郡山北工業高校建築科卒
飯塚 誠（実習教諭）
小針 勝（期限付実習助手）

【クラス担任】
◆1年 担任：渡辺 学
担任：高橋 美美（数学科）
◆2年 担任：武山 小百合（社会科）
担任：菅野 隼
◆3年 担任：本多 裕美（数学科）

副担任：長谷沼 徹

さて昨年度の進路状況ですが、男子29名、女子11名のクラスでしたが、就職者が23名、進学者が17名で、県内就職者が15名（内建設関係7名）で中通りの建設会社に女子2名が就職しました。進学者の内訳は4年生大卒への進学者が8名（内建設系7名）で、国立大学の室蘭工業大学理工学部創造工学科に大卒入学共通テストを経て進学しました。残り9名が専門学校や短期大学への進学となりました。公務員関係では、福島県職員（警察事務）に1名、国土交通省東北地方整備局に1名が就職しました。

昨年度の生徒たちの活躍を紹介いたします。2年生が製図の時間に知り組んだ、中央工学校／中央工学校OSAKA主催の第17回高校生対象コンペティション「どま」で感じる軽井沢の家の設計競技で優秀賞となりました。全国工業高等学校長協会主催のジュニアマイスター顕彰制度では、特別表彰1名、ゴールド7名、シルバー14名、ブロンズ4名と例年になく多数の受賞者

「どま」で感じる
軽井沢の家



を輩出しました。資格試験では難関の2級建築施工管理技術者試験（学科試験）で23名が合格しました。

また、10月に実施された体育祭・スポーツ大会では、1年生から3年生までが一致団結して総合優勝を果たし、建築インテリア科の底力を発揮しました。

昨年の創立120周年記念誌



にも紹介しましたが、令和3年度より建友会卒業設計優秀作品表彰を制定し表彰すると共に、高校生活の思い出の記録を未来のアーキテクト（建築士）達の旅立ちの記念に、建築インテリア卒業記念の冊子を発行して頂きましたが、昨年度も34社の建友会賛助会員の皆様のご協賛により作成して頂き、卒業生は勿論、在校生、市内中学校にも配付しました。今後の建友会の継続事業に定着しています。また、今年度は、コロナウィルス感染症で自粛が続いていた建友会懇親会が、2019年（令和元年度）以来4年振りに、6月23日（金）東山温泉「御宿 東

鳳」で盛大に開催されました。その際にご協力頂いた募金を建築インテリア科の生徒の教育活動への励励金にご支援を頂く予定となっております。お礼申し上げます。

今年度は、4月20日（木）に3年生を対象に、福島県建設業協会若松支部・宮下支部（Chang）どぼく実行委員会主催で、地域建設業就活セミナーを開催しました。建設業界の働き手の高齢化が進んでおり、次世代への技術の継承や事業継続の観点から将来の担い手確保が喫緊の課題になっています。進路選択決定前に、地域建設業の魅力伝えるセミナーを実施しました。地域建設業は建設業の町医者という言葉が印象に残りました。大先輩や卒業生には会うことができませんでしたが、今後とも後輩のために温かいご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

今後の建築インテリア科の予定としては、福島県建設業協会若松支部のご協力により、

令和5年10月3日(火)～5日(木)に現場実習(インターンシップ)を実施します。また、鶴翔会館で令和6年2月2日(金)～4日(日)まで作品展を開催いたしますので、ぜひ足を運んでいただければ幸いです。在校生の活躍や学校や建築インテリア科の様子、生徒の活躍は本校HPで随時発信しておりますのでご覧ください。



セラミック化学科

同窓会の方々、特にセラ友会の皆様には日頃より大変お世話になり、誠にありがとうございます。本年度は男子22名、女子18名の合計40名を新たに加え、総勢117名がセラミック化学科の学習をはじめ資格取得・部活動に、明るく元気に励んでいます。また今年度より、私・熊谷が学科主任となりました。初めての主任で不慣れな点も多くありますが、ベテランの先生方に助けていただきながら今年度の学科運営に取り組みたいと思っています。

今年度の職員紹介、生徒の活動内容を報告いたします。

【セラミック化学科の職員】
熊谷好広(主任・大塚正幸(3学年主任)・石崎 晃(2学年主任)・村田光夫・大濱達明(OB)・太刀川 光(OB))

【クラス担任・副担任】

◆1学年
担任 加藤 善範
副担任 村田 光夫

◆2学年
担任 石崎 晃
副担任 梅田 智也(国語科)

◆3学年
担任 大塚 正幸
副担任 熊谷 好広

【主な出来事】

◆第77回会津総合美術展において、金田リュウガ(3年)・長谷川紫苑(3年)が青少年奨励賞を受賞しました。また教員では、大濱先生が松川賞を受賞しました。

◆2023年学生会高等学校生徒セラミック作品展において、金田リュウガ(3年)の作品が最優秀賞を受賞しました。



「黒耀」長谷川紫苑
「赫耀」金田リュウガ
「創生」大濱達明

・1月・2学年工場見学
・2月・同窓会機友会入会式
【進路について】
昨年の進路状況は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、本校において7月に企業説明会も行われました。7月末から8月にかけて企業見学会、9月には就職試験が行われ、大方通常の進路活動となりました。3年生の頑張りの功もあり、今年度も希望進路内定率100%を達成することができました。

就職が52名、公務員4名、四年制大学7名、専門学校15名の計78名が立派に巣立っていました。現在進行形ではありますが、今年度(令和5年)も多くの企業様より求人をお願いすることができ、通常の進路活動を行っていることをお伝えしておきます。

【各種大会への参加と活躍について】
○福島県高校生ロボット競技大会出場
(2M1鈴木優斗・山ノ内大翔、2M2飯野隼斗・小椋皇太、1M2大原愛々・長岡諒真)
○福島県高校生ものづくりコンテスト2022旋盤作業部門第3位(2M2根本春樹)
【各種資格取得について】
○ガス溶接技能講習修了、ボイラー取扱技能講習修了、機械製図検定、基礎製図検定、危険物取扱者、技能検定旋盤三級などの各専門分野の資格取得に向けて生徒達も日々努力

＜今年度の機械科行事＞
(9月以降は予定となります)
・4月：新入生対面式・機友会入会式・お花見(鶴ヶ城周辺)
・7月：機械製図検定
・8月：ガス溶接技能講習会・技能検定(普通旋盤)
・前期試験
・9月：基礎製図検定・1学年工場見学
・10月：1学年施設見学
・11月：ふいご祭
・12月：技能検定(普通旋盤)後期試験・機械科課題研究発表会

優秀賞に選ばれました。

◆福島県高校生ものづくりコンテストに五十嵐朱愛瑠(3年)、武澤奈波(3年)の2名が出場しました。途中のミスも重なり、思うような結果ではありませんでしたが、2名とも初出場ながら全力で取り組んでいました。



最優秀賞「黒耀」
金田リュウガ



ました。

◆会津本郷せと市に参加しました。こちらも4年ぶりの開催でした。参加した生徒は、全員初めての参加でしたが、自分で作った作品が売れることが、今後の作品作りのモチベーションにつながったようです。久しぶりでしたが、今回も完売することができました。



◆向羽黒山城まつり(第19回ふれあい茶会)が4年ぶりに開催され、セラミック化学部陶芸班と茶道部の生徒が参加しました。お茶席の他、学科作品紹介のコーナーもあり、多くのお客様が生徒のお点前を楽しみ、作品の説明に興味深げに耳を傾けていました。

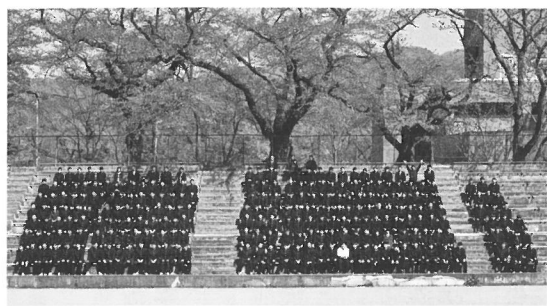
◆コロナによる制限がなくなり、今年度は多くの行事やイベントが通常通り実施することができるようになりました。今後は以前のように多くの地域の活動に参加し、先輩たちへ引き継いでいきたいと思っています。それらの様子はホームページなど活用し、生徒たちの元気な活動内容を外部に発信していきたいと思っています。これからも、同窓会の方々のご理解とご協力の程、宜しく願っています。



機械科

科長 岩橋 学

今年度の人事異動では、長年教員生活をされてきた栗田克志先生がご退職となりました。現在は再任用教員として引き続き本校機械科で尽力いただいております。また、本校に再任用を含め10年間勤務された岩沢厳先生が喜多方桐校高校に転出。本校に1年間勤務された田部清楓先生が、白河実業高校へ新採用として赴任。本校に1年間勤務された前田健登先生が、小高産業技術高校へ新採用として赴任。本校に1年間勤務された山口将史先生が退職され、宮城県へ移動。本校に1年間勤務された池上邦彦先生が郡山工業高校へ転出されました。後任として、小高産業技術高校から本校卒の安齋光一先生、小池恵生先生、埼玉工業高校から本校卒の安部克彦先生、新採用として渡辺智也先生が着任されました。今年度も再任用教諭として茂木利幸先生、渡部鉄仁先生にご尽力いただいております。そのため、今年度の機械科のスタッフは、13名でのスタートとなりました。各学年の担任の先生は、1M1は藤田康平(工業・機械)、



1M2は大越達也(数学)、2M1は星義一(工業・機械)、2M2は齋藤辰也(保健体育)、3M1は永峯宏彦(工業・機械)、3M2は片寄悦広(社会)の6名でクラス経営にあたっております。

機械科では、「ものづくりは人づくり」を科の重点目標に掲げて、教育活動にあたっております。基礎・基本の定着と基礎学力の向上を図りながら、ものづくりの「面白さ」「楽しさ」「魅力」を伝え、社会で通用する人材の育成に向けて職員一丸となつて取り組んでおります。前年度の入学より一人一台端末利用のGIGAスクール構想、新学習指導要領の実施により、指導と評価の一体化を図るなど、これから新しい取り組みが増え

3級
◆科行事(予定も含む)
◎1学期
・科集会(新入生歓迎会)
・1年生
・第二種電気工事士(上期)、ライントレース大会
・2年生
・常盤共同火力(株)勿来発電所(株)デンソー福島施設見学、情報技術検定2級、2級電気工事施工管理技士補
・3年生
・基本情報技術者、パソコン利用技術検定1級
◎2学期
・1年生
・会津大学出前講座/イノベ構想に関する講演会、福島再生可能エネルギー研究所FRE A・日本大学の見学及び体験/東京電力パワーグリッド(株)浜通り電力所・植葉遠隔技術開発センター見学及び体験、第二種電気工事士(下期)、計算技術検定3級、リスニング英検、危険物取扱者
・2年生
・全会津電気工事共同組合青年部技術指導/東京電力パワーグリッド(株)出前授業、第一種電気工事士、基本情報技術者(科目A免除)
・3年生
・課題研究発表会、基本情報技術者
◎3学期
・1年生
・情報技術検定3級

2コース制を取っています。両コース共に、旧科の学び、歴史を継承しながらも、目まぐるしく変化している社会の中で、常に新しい技術に注目しながら、基礎・基本を礎とし各分野で即戦力になれる人材育成に取り組んでおります。

今年度卒の進路希望状況は、就職者が27人で進学者が13人です。両コースとも企業からの求人数も上昇傾向にありますので、希望進路内定率100%を目指しております。進学においては、理工系4大・専門学校への進学を希望しております。

日頃より、同窓会の皆様からは温かいお言葉を頂戴しており、心から感謝申し上げます。今後とも後輩へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

山北工業高校へ、永倉良正先生が福島工業高校へ、中丸淳先生が喜多方桐校高校へ異動され、田邊芳男が郡山工業高校から再任用教諭として着任しました。科職員について紹介いたします。

真田郁夫先生、海和寛先生、遠藤悠先生、菊池研吾先生、齋藤啓先生、池田政人先生、境拓哉先生、田邊芳男の8名で構成されています。次にクラス担任を紹介いたします。1年生担任は遠藤悠先生、副担任安部有香子先生(英語科)、2年生担任齋藤啓先生、副担任堀井敦子先生(英語科)、3年生担任菊池研吾先生、副担任海和寛先生が担当されています。

学科は、旧電気科と旧情報技術科を一本化した学科であり、2年生より電気エネルギーコースと情報テクノロジークラスの



◆各種大会などの取組み
・福島県高校生ものづくりコンテスト(電気工事部門及び電子回路組立部門)
・コンピュータアイデアコンテスト
・パソコン甲子園
◆主な資格検定への取組み
(○内の数は現在の合格者数)
・第一種電気工事士、第二種電気工事士(9)
・2級電気工事施工管理技士補(13)
・基本情報技術者(3)
・計算技術検定3級
・パソコン利用技術検定1級(4)
・情報技術検定1級(1)、2級(6)

25 会工同窓会報No.48 '23(令和5)総会号

奮るえや会工の健男児 応援歌から

学び舎 ロケーション② 2023会工、鍛えの各部

山岳部

顧問 佐藤 聖

山岳部は今年度、3年生3名、2年生4名、1年生3名で活動しています。歓迎登山は青木山で、下山後バーベキューを計画しました。昨年度とは違って、春つらの陽気でした。青空の下で食しましたが、格別の味でした。地区大会は、昨年と同じ沼沢湖の外輪山である前山（金山町）に日帰りで登りました。写真は、増員前の人数です。県大会は会津駒ヶ岳と大津峠峠です。会津駒ヶ岳は、1200m



より上は残雪がありました。周囲は360度の大展望。奥白根山、燧ヶ岳、至仏山、平ヶ岳、中ノ岳、魚沼駒ヶ岳、北は……。登山の大会は、従来の、メインザックを担いでの縦走などというプログラムでの実施には至らず、ベースキャンプ型で行いました。テント内は、小さな穴が無数空いていたようで、水が染みてしまいました。でも食事の出来が良かったのです。3年生は、就職1名試験中、2名は大学進学に取り組んで勉強中です。

今後の会工山岳部は体力の増進、装備の知識やメンテナン、天気図の作成や読図の基本的な読み、安全登山を第一、目標は無事家に帰ることを顧問・生徒ともに意識しながら活動していきたいと思っています。また会津地区の高校山岳部の灯を絶やさめよう会津高校とともに奮闘します。

サッカー部

顧問 江本 城幸

加藤 善範
太刀川 光



現在サッカー部員は、3年生12名、2年生12名、1年生17の選手41名と女子マネージャー3名の計44名で活動しています。放課後の活動は、グラウンドの半面だけの練習と週に2〜3回会津総合運動公園の人工芝サッ

カーグラウンド1面を使用し、チーム戦術や個人のスキルアップを図ることができ大変有意義に練習ができています。今年度は、保護者会やOB会のバックアップにより、夏・冬休みに県内外のフエスティブルに参加し、強豪校との試合を通して強化を図ってきたいと思っています。過去会津工業高校サッカー部は、インターハイ県大会3位、福島県サッカーF1リーグ準優勝、福島県サッカーF2リーグ優勝、全国高校サッカー選手権大会県大会3位、新人戦県大会優勝と輝かしい成績を収めてきた。厳しい冬の寒さや雪との戦いに言い訳せず、強い気持ちを持ちながら必死に頑張ってきた「証」だと考えます。ここ数年間は、県大会に出場しても1回戦を突破することや県大会に出場できないことが増えてきました。日本サッカー協会の発表により全国プレミアリーグ、北海道・東北・関東・北信越・関西・中国・四国・九州・沖縄フリスリーグ、47都道府県の県リーグ1部2部3部を作り、リーグ戦の中で勝敗を決め

バドミントン部

顧問 栗田 克志

渡辺 智也
安部 有香子
大塚 正幸

バドミントン部は、男子15名（3年生3名、2年生5名、1年生7名）、マネージャー2名で活動しています。今年度の高等学校体育大会の地区大会では、学校対抗戦第3位、ダブルス第4位、シングルス第3位の成績を残し、ダブルス2ペアとシン



グル2名を含めた合計8名が県大会に出場しました。地区総合スポーツ大会においてもダブルス第3位の成績を残し、ダブルス2ペアとシングルス1名が県大会に出場しました。しかし、両大会の県大会とも全力を尽くしましたが勝ち切ることはできず、良い成績を残すことはできませんでした。3年生は高等学校体育大会県大会、県総合スポーツ大会を終え、進路実現に向かって活動をしています。今年度の新チームは下級生の時から県大会に出場している部員もいるため、非常に有望なチームだと思っています。新人戦

東北大会を目指し、毎日生徒たちが自ら練習を考え、ハードなメニューで練習をしています。時には輝かしい成績を残したOB・OGに来ていただき、OB・OGの力を借りて練習しています。運動面だけでなく人間性や社会性を育み、すべての方々に感謝の気持ちを忘れず目標に向かって頑張ります。応援よろしくお願いします。

バレーボール部

男子顧問 小針 勝

女子顧問 菅野 鉄仁
高橋 美



バレーボール部は男子部22名、女子部5名で活動しています。常に「意識」することを重要視し、今この練習は何の技術に向



上させるために行われているのか、体のどこを意識して動かすべきなのか等、限られた時間の中で内容の濃い練習が出来るように、一つ一つの練習の意義を考え、丁寧に行っています。女子部は少ない人数の中で、全員が同じ目標に向かって反復練習を日々繰り返して、着実に技術を身にかけています。県大会上位入賞を目指して練習に励んできましたが、今年度は主な県での主な成績を残すことができず、7月の大会で3年生は引退となりました。しかし、男女ともに強豪校に屈することなく自分たちのバレーを表現することができました。これもひとえに先生方やOB・OGの方々、多くの方々からご指導・ご助言を頂いたこと、大会の開催に全力を尽くしていただいた運営の方々、保護者の皆様のサポートのおかげだと思っています。今後も礼儀や感謝の心を大切に、一人一人が人間力を磨き、チームワークを高め、上位大会での活躍

ソフトテニス部

顧問 小池 恵生

本多 裕美
田邊 芳男



ソフトテニス部は、新たに1学年男子17名が入部し、2年生3名、3年生8名を合わせ、総勢28名で活動しています。今年度は男子の1年生が数多く入部してくれ、日々の活動にも活気が出てきました。残念ながら女子の入部はありませんでしたが、今後女子部員が入部し、女子の活動を再開できることを期待しています。私たちの活動目標は、地区大会優勝および県大会ベスト8以上進出を掲げており、個人戦に

硬式テニス部

顧問 大塚 雄介

上野 真帆
吉田 会津夫

硬式テニス部は、2年生4名、1年生4名の8名でインターハイや新人戦などの団体戦、個人戦での上位入賞を目指して日々の練習に励んでいます。学校にテニスコートがないため、毎日の部活動は会津総合運動公園テニスコートや門田緑地テニスコートで取り組んでいます。たくさんのご支援があつて硬式テニ

ス部が活動していけることに感謝申し上げます。本テニス部員の多くは、これまでにテニス経験がない生徒がほとんどですが、そつした中でも全員が工夫をし、一生懸命に取り組んでいます。練習においては「建設的・生産的」であるように努めています。とにかく、現在の自分からの昇華を志し、妥協することなく高めていけるような活動にしていければと思います。今後も生徒一丸となって取り組んでいきたいと思ひますので、ご支援よろしくお願いします。



バスケットボール部

顧問 阿部 哲也

遠藤 悠



どんなチームを相手にしても当たり負けしない体作りとディフェンスを強化するための練習を中心に取り組んでいます。先で行われたインターハイ福島県大会では昨年度優勝した福島南高校を相手にあきらめることなく最後まで戦い抜きましたが、1回戦敗退という悔しい結果となってしまいました。しかし試合を通して3年生が強豪校に向かっていった姿勢は、私たち後輩から見ても頼もしく、尊敬できる姿でした。そんな先輩から託されたバスケットボール部の伝統を受け継いで行きたいと思ひます。

野球部

顧問 大越 徹也
齋 藤 辰 也
齋 藤 啓 也
岩 田 雅



「常笑不屈」
現在野球部は、選手29名（1年11名、2年8名、3年7名、マネージャー3名）で活動しております。

最後は私たちが全力で練習に励むことができるのは、様々な場面をサポートして下さる保護者の方々、バスケネットボールを熱心に教えて下さる顧問の先生方のおかげです。今という瞬間を大切に、毎日練習に集中して取り組み、一試合でも多く勝つことが私たちに関わってくれた人々への恩返しになると信じ、会津工業バスケネットボール部らしい泥臭いプレーをして勝ち上がっていきたいと思います。

過去の先輩方の教訓を胸に、「一球」にこだわりを持ち日々の練習に取り組んでいます。新チームがスタートした秋の大会では勝利を収めることができず、とても悔しい思いをしましたが、しかし、敗戦を自分の糧にし、自分の弱さと真摯に向き合い練習に励みました。春季支部予選では、県大会の切符をつ

剣道部

顧問 馬場 正 丈
星 義 一



今年度は、新入部員が4名入部し、男子7名で馬場先生と星先生にご指導を頂き稽古に励んで来ましたが、また、島影OB会

かむことができるまでに成長しました。夏の大会は福島北高校に接戦で勝利し、夏一勝をあげることができました。会工野球部の想いは脈々と引き継がれます。今大会から通常の声出しの応援が可能となり、グラウンドでは今までの以上のパワーをいいたくことが出来ました。卒業生をはじめ、遠方の方からも激励を受け、応援の力の偉大さを感じました。現役部員はその後ろ盾を受けさらに会工らしく輝けるように熱い練習に挑みます。引き続き変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。

長をはじめ多くの先輩方にも支援して頂いているおかげで充実した活動が出来ています。高校総体では、会津地区大会で男子団体準優勝となりました。個人戦でも2名がベスト8で県大会の出場権を得ました。県大会では、団体戦初戦の学芸石川高校に接戦の末敗れましたが悔しい試合をする事が出来ませんでした。次の大会の全会津総合入部大会では男子団体で25年ぶりに優勝し、男子個人でも1年生の須江悠成君が優勝しました。同県大会では、男子団体でベスト8に入り会工のアピールができました。さらに、新人戦会津地区大会では28年ぶりに男子団体戦で優勝し、個人戦でも1位から3位まで上位を独占しました。同県大会では男子団体で第3位となり、40年ぶりの東北大会出場権を得ました。近年は、コロナ禍による対応で練習時間の短縮や練習試合の制限を強いられました。5月からコロナ対応が緩和され練習試合なども行い、大会に向けた調整をすることができました。今後は、部の目標である正しく強い剣道を体得し、各種大会でも上位進出が出来よう稽古に励んで行きます。さらに、日々感謝の気持ち忘れず、人間性や社会性も身に付けたいと思っています。同窓生の方々に吉報が届けられるよう努力していきますので、今後とも宜しくお願い致します。

柔道部

顧問 梅田 智也
菊池 研吾
部活動指導員 山口 正之



今年度4名の新入部員を迎え、男子9名の部員で活動をしていました。平日は、15時30分から18時30分まで、土曜日は9時から12時30分までが練習時間となります。特に土曜日は若松商業高校で行われる合同練習会に参加して腕を磨いています。日曜日は原則休日で学習時間を確保するように配慮しています。部員のほとんどが高校から柔道を始めた初心者で、練習はもろろん試合も初めて経験する者ばかりです。練習内容は、平日は準備運動、寝技と立技の基本練習を主体に活動しています。その他、寝技の打ち込み、乱取り、立ち技の打ち込み、乱取り、サーキットトレーニングや筋力アップのトレーニングなど多彩

に活動しています。長期休業中は合宿や練習試合、遠征など結構ハードな活動をしています。武道場は、一昨年度に全て新しい畳になり、さらに充実した環境で練習に取り組めております。その他にシャワールームや洗濯機も完備され、生徒には、夏の暑い時期に熱中症予防のため利用させています。恵まれた環境で部活動ができ、一心不乱に努力できるのも保護者の方々ははじめ同窓会の皆様方の御協力と御理解があればこそできることだと感謝しております。昨年度から部活動指導員に山口正之先生を迎え、梅田、菊池を含めて3名の指導者で指導をしております。

今年は、高校大会会津地区大会において、団体2位、個人戦では、2階級で優勝、1階級で準優勝という結果でした。また、個人戦では県大会ではベスト8に入りました。「継続は力なり」という言葉のとおり、部員達は、「休まず努力すること」を念頭に柔道と勉学を両立させて未来に向けて頑張っています。

水泳部

顧問 永峯 宏彦
堀井 敦子

水泳部は、11名（3年生7名、1年生4名（内女子3名））で活動しています。昨年度は入部者ゼロでしたが、今年度は新入



東北大会にて（秋田県立総合プール）

生4名（内マネージャー1名）が入部しました。今の3年生にとっては初めての先輩ということと、後輩の練習メニューや練習のサポートなどコミュニケーションを取りながら、一生懸命取り組んでくれました。初めのうちは体力トレーニングがメインとなっていました。周年的行事となっているブル掃除もゴールデンウィークの期間中に皆で協力して行い、5月中旬に本格的な活動をスタートしました。今年度は、昨年度4×100mフリーリレーで東北大会へ出場した2年生が残っており、昨年度以上の結果を出せるようにと頑張ってきました。結果としては、県高校体育大会において4×100mフリーリレー第8位（記録3分59秒66）、小林瑠夏3M1、柳澤夢維人3A、一条颯来3A、佐藤陽3M1）に入賞し、2年連続で東北大会出場を果たしました。個人としては、建築インテリア科3年の一條颯来選手が50m自由形で6位、100m自由形で第8位に入賞を果たし東北大会出場、惜しくも東北大会出場を逃した佐藤陽選手が100m自由形で9位と県大会において活躍してくれました。秋田県で行われた東北大会では、4×100mリレー（3分57秒95）では、47チーム中34位で予選敗退、個人種目も50m自由形、100m自由形ともに予選敗退となりました。出場した4名も悔いの無いレースをす

ることができ、良き思い出となったようです。また、県総体では4×50mフリーリレーにおいて第1位になるなど、3年生も最後の大会まで一生懸命取り組んでいました。2学期からは3年生が引退して1年生だけとなり、4名での活動となりました。4名のうちマネージャーが1名で、実際選手は男子2名、女子1名の3人です。そのためリレー競技に出場することが不可能となりました。しかし、各個人自己ベスト更新を目標に頑張っており活動しています。

スキー部

顧問 茂木 利幸



会津工業高校スキー部は、生徒も少なくなつてしまいましたが、アルペン競技とクロスカントリー競技の2種目なのですが、今年度はクロスカントリー競技1名で活動しています。昨年度はクロカン競技で東北高校スキー大会、全国高校大会

陸上競技部

顧問 雪下 良治
石崎 晃
大石 友里恵

国民体育大会スキー競技会等で県代表として参加しました。令和6年のシーズンはこれからですが、スキーシーズンに向けて様々な練習（ランニング、ロード自転車、ローラースキー、登山、サーキットトレーニング、水泳、カヌー、ローラーブレード、ウエイトトレーニング、ローラー台自転車など）あらゆるスポーツで体力づくりや体幹の向上に取り組んでいます。今年度も充実した基礎体力づくりができたので、これからの雪上合宿でそのトレーニングしてきた体力をスキーの滑走に調整し、県高校大会・県総体で全国大会への切符を手に入れて今年度は全国レベルの大会で上位入賞を目標にこれから努力して行きたいと思っています。今シーズンの会津工業高校スキー部の活躍にご期待下さい。（写真は大会の写真です。）

新たな入部を希望した1年生14名を加え総勢42名（男子33名・女子2名・マネージャー7名）で、2023年シーズンが始まりました。昨年の新人戦では東北大会出場が叶わず、今シーズンの目標は「東北大会出場」としました。期待を込めて参加した県インターハイでは400mリレーで決勝進出は果たしたものの、8位という最下位に沈み他校との力の差を思い知らされました。またハマー投げにおいてもベスト8の試技に進出した3年機械科・猪股浩聖でしたが、7位に終わりあと一歩及ばずという結果でした。しかし、県新人戦において念願の東北大会出場権を獲得することができ、新たな意識で練習に取り組んでいる状況にあります。400mリレー4位はチーム力の現れ、5000m競歩2位の2年機械科・伊藤友仁は地道な練習の成果、三段跳3位の1年機械科・佐藤弘陵はポテンシャルの高さを発揮した大会となりました。県高校駅伝においてはメンバー不足により葵高校・若松商業高校との合同チームで臨むこととなり、非公認チームではありますが長距離種目でも活躍しようと思込込んでおります。

卓球部

顧問 安部 克彦
境 拓哉



3年間頑張った3年生たち

卓球部は、部員の実力に応じて構成した練習メニューを、ルールを決めて取り組んでいます。定期考査前は、部活動を休みにし、勉強に時間を割くように配慮し、学業に専念できるようにしています。部活動を成績不振の言い訳にさせないようにしています。県大会で上位に入るような選手で



会津工業高校卓球部は、会津地区においては強豪と言われています。各種大会の上位に少なからぬ数の選手を送り込み、他チームから十分に警戒されているにも関わらず、大会毎にいくつかのトロフィーを持ち帰ってきています。昨年度の総合体育大会から今年度のインターハイ

さえ、卓球では、食べて「いけません。『部活動も勉強も大事にする。』やるべきこと、その優先順位を間違わずに活動できる選手が多く存在する部で在ってほしいと思っています。

弓道部

顧問 藤田 康平
武山 小百合

今年度は、3年生7名、2年生8名、1年生14名の計29名でOBやOG、保護者の方々に支えられて活動しています。

令和5年度は地区インターハイ男子団体ベスト4、県インターハイ出場という成績を残すことができました。しかし、新型コロナウイルス感染症が緩和された中で大会ということもあり、思うように自分の実力が出せなかった様子が窺えました。過去には全国インターハイにも出場したという経験があり、先輩方が繋げた思いに胸に、今



ボクシング部

顧問 篠原 宏和
長谷沼 徹
部活動指導員 遠藤 広大



今年度のボクシング部は3年生6名(女子マネージャー1名)、1年生8名(女子マネージャー1名)の合計14名で活動しています。平成27年度(2015年)より会津第二高校に勤務してい

た篠原先生が9年振りに会津工業高校に転勤となりました。また、昨年度に引き続き、部活動指導員として、遠藤広大コーチにも指導頂いています。

練習は、北3棟3階の練習場で行っています。放課後は基礎的なトレーニングと実践的なトレーニングを日替わりで2時間程度、休日はより実践的なトレーニングを2時間程度行います。

昨年の創立120周年記念事業では、10月15日(土)に記念講話で「ボクシングで学んだこと」を演題に東京オリンピックボクシング女子フェザー級金メダリストの入江聖奈選手に講演をして頂き、その後一緒に練習をしました。

各種大会では、「勝つために熱き拳をぶつけ合う」の気持ちで臨んだ、7月末に行われた北海道総体2023では、パンタム級星野聖弥君3M1、ライトウエルター級村上裕哉君3M1、ウェルター級で村岡空君3M1、ミドル級田口敬斗君3Eの5名が出場しましたが、全国の壁は厚く、高く・険しく、星野君の1勝で終わりました。

悔しさの残る結果とはなりませんが、今出せる力を出しきることができました。後輩たちに上位入賞という思いを託す形にはなりました。

部活動を通して学んだことを、日々の行動や就職後の生活に活かして、これからも頑張っていきたいと思っています。

美術部

顧問 佐瀬 和久



美術部では、展覧会やコンクールに向けた作品制作に日々取り組んでいます。今年度は、7月に開催した会津地区高校美術連盟展に絵画F50号3点、F20号5点を展覧しました。技法はアクリル水彩で風景画や抽象画を描いています。1年生も積極的に出品しました。8月には高文連美術工芸専門部会津支部主催の「高校生のための実技講習会」に参加し、静物デッサンの技能を高めました。9月には公募のデザインコンクールに出品予定で、キャラクターコンテストやイラストコンテストで上位入賞を目指しています。

10月以降の活動は、12月にいわき市文化センターで開催される「福島県高等学校美術展」、1月下旬より喜多方市立美術館

で開催される「高校生・あいつの美術展」に参加出品予定です。展覧会に出展する作品はキャンバスに風景画、人物画、抽象画を描いており、今年は2年生のうちからF50号に取り組み部員が育ってきたので、県高校美術展で県代表作品に選ばれるのを目標に活動していこうと思っています。

吹奏楽部

顧問 栗城 和枝
大木 孝之
岩橋 学



現在、吹奏楽部は10名で活動しています。少人数ではありますが、部員の個性と表現の幅を生かし、小編成ならではの演奏

を表現活動を行っています。今年度は定期演奏会に代わる企画として、校内ミニ文化祭でのコンサートに向けてレパートリーを増やしています。部員一人丸となってアイデアを出し合い創造性豊かなステージを企画しています。

後輩の活動を見守り支えて下さる先輩方の期待に応えるためにも、より一層の努力を重ね活発な活動を展開していきます。今後とも諸先輩方のご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

演劇部

顧問 熊谷 好広
土田 幸良

演劇部は現在、2年生6名、1年生6名の計12名で活動しています。昨年度は部員が少なく、コンクールではとても苦労しま

したが、今年度は1年生が多く入部してくれたため、キャストも多く割り当てることができ、作品作りが楽になりました。その分、いい作品を目指し、頑張りたいと思っています。

6月に、新体制スタート後、初めての大会である「春の発表会」がありました。今年度から保護者以外のお客様も観劇できるようになり、努力して作り上げた舞台を多くの方に見ていただくことができました。

部員たちも、いつもより緊張するといえながらも、見てもらってなんぼの演劇という気持ちがあり、練習以上に良い発表を行いました。

9月には「秋のコンクール」があります。このコンクールが唯一、上位大会へ進める大会となるので、まずは県大会出場を目指して頑張っています。普段の発声、活舌、柔軟運動などの



基礎力強化練習を活かして、春の発表会以上の作品となるように真剣に練習に取り組んでいます。今年度は、例年よりも舞台装置に力を入れる演出が多く、慣れない仕事も多いのですが、協力して大仕事を頑張っています。

写真部

高文連会津地区写真専門部に所属して活動している高校の写真部は、ここ数年、優秀作品に選出され全国総文祭にも参加するなど活発な活動をしている。

そのことに触発され本校の生徒も、会津地区の高文連写真専門部が主催する技術講習会や合同撮影会に積極的に参加し、優秀作品に選ばれている他校の生徒とグループを組んで活動する貴重な機会を得て、感性・技術面で多くのことを学び作品の制作に臨んでいる。今年の7月に実施された合同撮影会では、国指定重要文化財「萬代橋」を中心に明治以降発展する新潟市を被写体に町並みや、風景を撮影して会津とも深いつながりのある新潟の良さを深く理解し、学ぶ貴重な機会とすることができた。

今後は11月に開催される福島県高等学校総合文化祭写真真展に出

展する作品の撮影を精力的に行い、部員同士が切磋琢磨しあうことができる一瞬を作品として残し、全国総文祭に出品することを目指して活動していきたい。



茶道部

顧問 村田 光夫

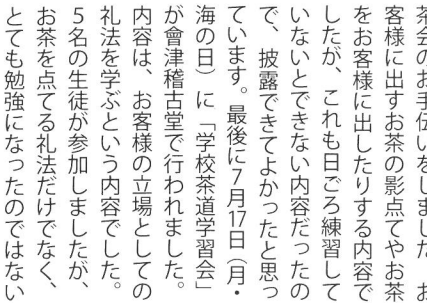
今年度は、3年生5名、2年生3名、1年生3名の合計11名で活動しています。指導者は、昨年に引き続き茶道裏千家淡交会神田恵子(宗恵)先生です。

昨年度までと大きく違うところは、コロナが5類扱いとなったため、今まで中止となっていた「ふれあい茶会」、「あやめ祭り」、「学校茶道学習会」がすべて行われたことです。まず初めに、5月28日(日)旧会津本郷町の向羽黒山城跡にて「ふれあい茶会」が開かれました。会津

西陵高校と合同の学生茶席でポイントを通して日頃の練習成果を

披露しました。次に6月24日(土)旧会津高田町の伊佐須美神社内において「あやめ祭り」のイベントの一つである茶道裏千家淡交会会津支部主催の野点茶会のお手伝いを行いました。お客様に出すお茶の影点やお茶をお客様に出したりする内容でしたが、これも日ごろ練習していないとできない内容だったので、披露できてよかったと思っています。最後に7月17日(月・海の日)に「学校茶道学習会」が會津稽古堂で行われました。内容は、お客様の立場としての礼法を学ぶという内容でした。

5名の生徒が参加しましたが、お茶を点てる礼法だけでなく、とても勉強になったのではないかと思います。茶道は、日頃の練習成果を誰かに披露して評価してもらおうのが第一の目標です。それが、今年はすべて叶いました。来年度以降もしっかり披露できるように一生懸命練習に励みだと思っています。



生活科学同好会

顧問 齋藤 桂子



生活科学同好会は、学年・科を問わず、いつも穏やかな雰囲気で行っています。

ここ数年、感染拡大の心配があり、なかなか思うような活動ができずにいましたが、今年度は感染対策をしながら、活動日を増やし、お菓子作りだけでなく、ランチメニューを作ってお昼を楽しんだりしています。

昨年度までは、その場で試食はせず、持ち帰りのみと作っていましたが、自分たちで作った料理やお菓子を感想を言い合いながら試食するのは、一番の楽しみであるので、とても盛り上がっています。

また、今後は料理コンテストに挑戦したり、食の大切さを校

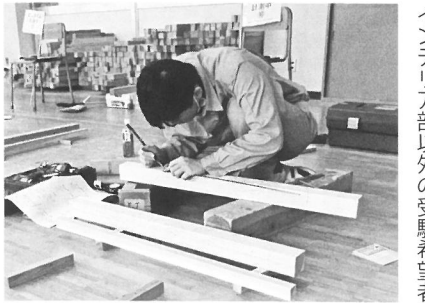
建築インテリア部

建築インテリア部の中心活動は、高校生ものづくりコンテスト木材加工部門への参加と国家検定である技能検定試験の3級技能士(職種・建築大工・鉄筋施工)への受験、合格です。

ものづくりコンテストには、例年4名の選手が出場しており、学年関係なく、まじめに活動をし、丁寧に作品を仕上げられる選手が選ばれています。今まで経験を経んできた3年生の指導、また、外部講師として倉本建築(株)の倉本文夫さんからの指導をいただき練習をしています。

令和3年度の大大会での4位が過去10年間での上位成績となりました。

検定試験への受験には、建築インテリア部以外の受験希望者



ご協力ありがとうございました

NANKAI SEIBU

代表取締役社長 **植田 正勝**
Masakatsu Ueda

南会西部建設コーポレーション
Nankai Seibu Construction Corp.

【本社】〒965-0053 福島県会津若松市北町大字上荒久田字鈴木57-1
TEL 0242-25-0231 / FAX 0242-32-1534
E-mail: ueda@nankaiseibu.co.jp
URL: www.nankaiseibu.co.jp

株式会社 東北入谷まちづくり建設

代表取締役社長 **小野 太成**

■本店 会津若松市門田町大字ノ郷字村西708番地9 TEL 0242-27-1248
■坂下本社 河沼郡会津坂下町字沢ノ目1717番地 TEL 0242-83-3311

有限会社 **五十嵐総合事務所**

土地家屋調査士・行政書士事務所
建築設計 黎明住宅相談室
宅建取引業 住地サービス

代表取締役 **五十嵐 一夫** (昭43A)
【土地家屋調査士・宅地建物取引主任者】
【一級建築士・行政書士】

事務所 福島県河沼郡会津坂下町字沢ノ目1713番地5
(鉄砲町・バス停)
TEL (0242) 83-0107

なごみ成年後見事務所

司法書士 **栗城 和夫** (昭41M)

〒965-0037 会津若松市中央一丁目4番31号
TEL 0242 (25) 3774
FAX 0242 (25) 1240

より良い生活環境づくりのお手伝い。

水廻りのトラブル解消
住宅・住宅設備のリフォーム
給排水衛生・空調・機械設備工事等の
設計・施工・メンテナンス

ハッ橋設備株式会社
YATSUHASHI

〒965-0008 会津若松市松町2番3号
[TEL] 0242-27-3925
[fax] 0242-27-3681

豊かな環境づくりで社会に貢献する
空調設備・給排水衛生設備・ガス設備・水道施設・
機械器具設置 設計施工

株式会社 アクーズ会津
Air Construction Water Satisfaction

代表取締役 **梶屋 和久**

〒965-0817 福島県会津若松市千石町4番50号
TEL 0242-28-4111 FAX 0242-27-5441
http://www.acws.jp

SIGMA

滝谷建設工業株式会社
TAKIYA

代表取締役社長 **田中 智仁**

■本社 〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下177番地
TEL (0241) 52-3131 (代) FAX (0241) 52-3143
URL https://www.takiya.co.jp
■会津若松店 〒965-0042 福島県会津若松市大町一丁目2番8号
TEL (0242) 24-3511 (代) FAX (0242) 25-0940
■喜多方支店 〒966-0802 福島県喜多方市字桜が丘二丁目34番地3
TEL (0241) 23-5900 FAX (0241) 23-5901

セラミック化学部

顧問 大濱 達明

セラミック化学部では「地域貢献」「陶芸」「化学分析」の3班に分かれ現在19名で活動しています。

地域貢献班では5月にふれあい茶会に参加し、夏には会津本郷せと市に3年ぶりに参加ができました。生徒たちは誰も経験者が無く、少し不安はありましたが生徒8人が参加し、盛大に終わりました。

陶芸班では会津美術展では3年生の長谷川紫苑君と金田リユウが若く青少年奨励賞を受賞し、県展では入選しました。また、夏の全国統一陶芸技能検定では受賞者が全員合格し練習会の成果が出たと思われまふ。2023年年度高等学校生徒セラミック

大会への参加や資格試験への挑戦で結果を残すことも大切ですが日々の練習を自分の糧として、部活動を通して成長していきたいと考えています。

も複数名受験していますが、大工工事業に關しては、平成30年度からは5名程度、令和4年度はコロナによる受験停止者を除き9名、令和5年度は16名合格しています。鉄筋組立作業に關しては、令和4年度から福島県内で初めての実施校として受験しましたが、コロナによる受験停止者を除き9名合格しています。



ク作品展では3年の金田リユウが若く最優秀賞を受賞し部員の励みになりました。

化学分析班では10月に行われる「ものづくりコンテスト化学分析部門」に出場する2名が放課後、練習に励んでいます。



機械研修部(カート班)

顧問 高畑 利夫



は、3年生3名、2年生1名の計4名で活動しています。部員が少ない中、今年は8月11日・12日に秋田県大湯村で実施される、支給された12Vのバッテリー4個を1周約6kmのコースを2時間でどのくらい走れるかを競う全国大会のWEM(ワールド・エコノムープ)に参加しました。昨年度に製作した角ばったデザインとは異なり、丸みを持ったデザインにカートを変更し、完走距離51.38kmで5位入賞することが出来ました。10月には栃木県茂木町で実施される乾電池40本で45分間に何周走れるかを競う全国大会の2023 Ener1 MOTEGI GPの大会に昨年度に続き参加します。2年生が修学旅行で参加出来ないため、3年生3名で大会に参加しWEMで参戦したカートで分かった問題点を改善し、高校生活最後の大会で昨年度の記録更新を狙っていききたいと思います。

機械研修部(ロボット班)

顧問 安斎 光一



トはまだまだ改良すべきところが数多くありますが、全国大会出場に向けて部員全員が協力して頑張っています。さらに今年には丸隆工業株式会社様のご協力のもと、工場見学に伺うことができました。今回の見学により、炭素繊維複合材料という新たな素材の知識や実用性を学ぶことができて、アイデアの幅が広がったように感じます。来年以降はより活発に活動し、新たな材料や革新的な機構を取り入れていけるように頑張っていきたいと思っています。

電気情報研究部(電気部/IT研究部)

顧問 池田 政人

電気情報研究部は電気情報科の生徒を中心に活動している部活動で、令和5年度は35名が所属しています。「パソコン甲子園」を始め各大会に向けて練習に励む生徒や、資格取得を目指して学習をする生徒がそれぞれの目標に向けて活動をしています。今年度は「ジャパンマイコンカーラリー」「マイクロボットコン高生大会」「ロボットアイデア甲子園」の他に、いくつかのアイデアソンに出場を予定しています。「高校生ものづくりコンテスト」には電気工部門に1名と電子回路組立部門に2名、「パソコン甲子園」プログラミング部門」には6名が参加し



ます。国内の状況によっては大会の開催方法が変わるかもしれませんが、技術者を競い合う機会が失われないことを祈るばかりです。

資格取得を目指す生徒は、ITパスポート試験、基本情報技術者試験、工事担任者第二級デジタル通信などに挑戦中です。CBT方式を新たに取入れた資格試験が増え、試験に挑む機会が増えました。目標を定めて是非合格して欲しいところです。幅広く活動を続ける生徒達の応援よろしく願います。

健康経営優良法人 2023
Health and productivity

株式会社 山口設計

代表取締役会長 一級建築士
山口 一男

[猪苗代本店] 〒969-3121 福島県耶麻郡猪苗代町字津金沢54番地
TEL (0242) 62-4310 代 FAX (0242) 62-4381
[若松本社] 〒965-0013 福島県会津若松市堤町11番9号
TEL (0242) 23-7781 代 FAX (0242) 23-7791
[郡山事務所] 〒963-8861 福島県郡山市鶴見田三丁目9番8号
TEL (024) 954-4062 代 FAX (024) 954-4064
http://www.yamarchi.com
E-mail: archi@yamaguchi.email.ne.jp

健康経営優良法人 2023
Health and productivity

人と街に新しい息吹。
Neo-Trad Creation

会津土建株式会社

代表取締役社長 管家忠洋

〒965-0873 福島県会津若松市追手町5-36
Tel 0242-26-4500 fax 0242-29-5911

一級建築士事務所

有限会社 北斗設計

代表取締役 一級建築士 **佐藤 満**

(本社) 〒969-6267 福島県大沼郡会津美里町字西裏1764
TEL. 0242 (54) 7305 FAX. 0242 (54) 7306
E-mail: hokuto-m@agate.plala.or.jp
(若松支社) 〒965-0003 福島県会津若松市一箕町大字八幡字墓料36-17
TEL・FAX. 0242 (88) 9119

自然との調和を大切に

総合建設業
永島建設株式会社

代表取締役 **永島 隆治**

〒969-6183 福島県会津若松市北会津町上米塚1235-2
Phone 0242-56-3230 FAX 0242-56-2662
E-mail: t-nagakk@atlas.plala.or.jp

居酒屋 **えびす亭**

店主 **高野 豊**
TAKANO YUTAKA

会津若松市上町1-26
☎ 0242-23-1318

YEBISU-TEI

有限会社 倉工房

代表取締役 **倉本 浩二**

〒965-0021
会津若松市山見1丁目4番地の11
TEL: 0242-93-5400
FAX: 0242-93-5401

TOTAL SIGN & DESIGN
各種看板・屋内外サイン

有限会社 東海堂アール工藝

〒965-0830 会津若松市西年貢二丁目2-14
TEL: (0242) 27-8610 FAX: (0242) 26-7790

株式会社 荒井工務店

荒井 誠一

〒969-6107 福島県大沼郡会津美里町字新用地197番地
TEL (0242) 56-2587 FAX (0242) 56-3587
E-mail: qq3s6c69@proof.ocn.ne.jp

OFFICE YAMAKI
オフィス 山樹

代表 **山田 茂樹**
Shigeki Yamada

〒965-0801 会津若松市宮町7-1 (会津工業高等学校前)
TEL: 0242-85-6037 FAX: 0242-77-4275
携帯: 080-5553-2679 E-mail: yamaki4237@outlook.jp

startia lead

スターティアリード株式会社
会津支店

福島県会津若松市川原町1-9 〒965-0865
Tel 0242-26-0123 Fax 0242-26-0124

・一般貨物運送業(ダンプカー) 東北自貨第557号
・産業廃棄物収集運搬業 第000704031596号
・建設工事業(土木、建築) 福島県知事(般-3)第25258号

有限会社 会津金山運輸

代表取締役 **栗城 秀一**

〒968-0322 大沼郡金山町大字横田字高根沢72-4
TEL 0241-56-4161 FAX 0241-56-4363

創業明治三十五年
伝統的産業工芸品指定 会津本郷焼窯元

株式会社 漆紋焼

〒969-6041
福島県大沼郡会津美里町字川原町1933
TEL (0242) 56-2221 代
FAX (0242) 56-2223
E-mail: yumita@ryuumon.co.jp
http://www.ryuumon.co.jp

株式会社 白井設計

代表取締役 **白井 武男**

〒965-0872 福島県会津若松市東栄町2番8号
TEL 0242 (23) 8840
FAX 0242 (23) 8640
E-mail: hakubu@cocoa.ocn.ne.jp

代表取締役 **新井 正人**
一級建築士/構造設計一級建築士/構造計算適合判定資格者

一級建築士事務所
有限会社 アルファ建築設計

〒965-0804 福島県会津若松市花春町7番67号
TEL (0242) 26-5225
FAX (0242) 26-5295
E-mail: alpha.arai@nifty.com

宴会・会合・無尽
割烹 **萬里** ユネスコ 和食 無形文化遺産

〒965-0871 会津若松市栄町4-37 (清水通り)
●営業時間 17:00~22:00 ●定休日 日曜日 (不定休)
TEL (0242) 22-8502 FAX (0242) 27-5790

STONE IGARASHI 五十嵐石材

福島県知事許可(般-22)第27639号
日本石材産業協会認証お墓ディレクター

代表 **五十嵐 幸夫**

〒969-2663
福島県耶麻郡猪苗代町大字川桁字道上9-1
TEL/FAX (0242) 66-2608

設計・監理・施工
一級建築士設計事務所
アイザワ設計室

一級建築士 **藍澤 弘幸**
AIZAWA HIROYUKI

会津若松市五月町137
TEL・FAX (0242) 37-2840
自宅 (0242) 29-3810
携帯 090-5231-3376

一級建築士事務所 構造設計 耐震診断 耐震補強設計 構造監理
カズ

有限会社 和 構造設計事務所

代表取締役 **菊地 和彦**
(構造設計一級建築士)

〒965-0011 会津若松市鶴賀町2番10号
TEL (0242) 32-3939 FAX (0242) 22-3585
E-mail: kazukozo@sky.plala.or.jp

私たちは『ひと』を大切にします。
株式会社 目黒工業商会

〒965-0816 福島県会津若松市南千石町1番54号
TEL (0242) 27-3344 代
FAX (0242) 28-6655
E-mail: kmeguro@ifn.ne.jp

AKIYAMA YUAVIS CONSTRUCTION CO., LTD.
地球とコミュニケーション

秋山ユアビス建設

秋山ユアビス建設株式会社

■本社 〒965-0875 福島県会津若松市米代一丁目4番30号
PHONE 0242-27-3770 (代) FAX 0242-27-0428
■郡山営業所 〒963-8071 福島県郡山市喜久山町久保田字大久保40 GOSHINビル1011号
PHONE・FAX 024-935-2465

[illegible]

鈴中山山山梅福佐遠安石猪浅雪星山平鈴金江吉古古蓮山安赤蓮新渡渡本長新内東小郡熊久北小榎稲石猪
木島内野内津田藤藤藤田瀬沼野野山本木子川野川川沼口部羽沼田部部田沼国藤瀬林司田家原島本田山狩

秀拓司憲勉敏敏素昭高芳美輝 公 力正 洋 澄 治 雅 恒基 紘昭正良克正喜岩盛信次
滿忠夫朗三行司秋弘男志治幸雄勝夫充夫八尊守次実卓誠實雄健夫亮昭毅一次子一洋孝治士三一雄夫一夫

昭昭昭昭平昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭
26 25 25 21 20 13 52 51 50 50 50 47 46 46 43 43 42 41 40 40 39 39 37 37 35 35 34 34 34 32 31 28 26 25 61 58 52 51 50 49 48 47 47 43 41 40
K K K K K I L T T T T T T T T T T T

n

五渡宮橋佐蓮小小池山渡白岩五十福大五十获佐阿渡安大田渡山小樋齊片長七青閨月大齋長山杉吉小大鈴山
十風部崎本藤沼掠竹原田内部井橋五十風原竹原野藤邊部堀中部下菅口藤桐海山根岡大木藤尾田原田林野木寺

幸英璋雅孝 輝新隆則利すみ 久治藤省孝庄三 雅隆嘉 英光一進明代 俊和貴弘則好雄正裕正範善勝
實稔男雄三子二誠嗣治夫一光え 勲雄郎重次士郎久信雄久孝淳之好男一水次藏弘公明広章一博之幸章雄榮

[illegible]

相堂大大森宮花木平古鈴高大山代石梨片石長水日玉佐齋二外渡丹鈴杉平神渡邊幹淺渡佐山大石中杉渡中
 木平竹濱 腰見村野川木木関田島川本岡井川野部川藤藤瓶川辺藤木原石林部見木沼部藤本波井島本辺村
 隆義啓達總一克善洋文義文博喜利行善 和良利俊敏和 博正幸又正啓俊昭 芳輝正定洋悦次三久博重正周
 志忠一明郎美勝一一市男康郎廣昭平傑夫範夫彦弘男誠幸人吉雄明甫男夫宏夫秋雄于朗男男夫範明夫平

[illegible]

斎高上大渡古船要小田小青平高斎石渡佐丸坂佐佐渡蓮柚佐遠小高鈴石五鈴大秋野佐鈴小安小田齋渡上馬
 藤橋林竹部川木 倉中澤津野橋藤田部藤山内藤藤部沼木藤藤山畑木井嵐木堀山原藤木林部滝中藤部田場
 千靖光政哲健光喜英正義光信善 正 孝英 敏 周賢義国紀利広知健 利 庄 春久彦邦洋祐篤理
 進之則弥明弘一夫男治春夫治男信昇雄亨治雄武隆晴宏作司昭雄雄彦道雄三豊光浩寿巖洋喜市明輝平志花

昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	平	平	平	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
28	27	26	26	25	24	23	19	19	9	7	59	57	56	53	52	52	50	50	49	49	48
M	M	M	M	M	M	M	C	C	C	C	C	C	C	C	C	G	G	G	G	C	C

間兼星五水大土諸西山押佐佐鈴渡渡岩石真川佐酒安秋山岩齋小野五松石吉金山峯中田須渡小田佐薄鈴
 口^十子 嵐野竹屋橋潟口田藤藤木部部上橋壁嶋藤井齋山野崎藤島柴口嵐本田原田田城島原藤辺林部藤 木
 勝 英彗 謙倭榮正大將嘉正健英和秀利由靜健 福廣 惠憲牧 克誠義 秀五民憲政常繁重 一浩秀和
 枝章雄夫晋吉章輔二德規宣道郎二広夫章年雄二裕実志敏造郎男宏也幸重功司郎雄治彦雄雄德栄徳司樹男

M M

吉 星 田 閔 鈴 宇 栗 尾 五 戸 鈴 大 古 齋 鹿 牛 高 兼 佐 菊 近 中 佐 佐 齊 佐 小 大 山 細 閔 遠 江 安 高 後 五 山 小 吉 福 二 齋 成 春
野 村 木 山 城 崎 嵐 部 木 竹 見 藤 目 木 橋 子 藤 地 藤 村 藤 藤 田 藤 里 竹 浦 堀 和 藤 川 西 羽 藤 嵐 田 野 田 地 瓶 藤 瀬 部
康 孝 秀 武 和 一 武 邦 四 秀 齋 雄 宏 五 武 一 健 周 宗 節 辰 誠 正 和 顯 太 三 諒 嘉 吉
悟 久 生 誠 志 夫 夫 夫 憲 豐 彦 男 隆 友 夫 昭 勤 次 之 男 臣 郎 三 実 春 平 勤 夫 正 信 也 清 越 二 敏 夫 徹 二 蔵 明 男 勝 亮 秀 明 雄

会工応援歌

一、 鶏鳴三度地に鳴きて
会陽の地の朝ぼらけ
ひわどうよう
緋緘鎧ふ若武者が
血潮高鳴る胸の鼓動

二、 おお胸躍る白虎の血潮
世々受け嗣ぎし会津魂
金甌馬は芳草の
野に嘶くと謳わずや

三、 今混沌の末の世に
重き使命はこれなりと
浮薄の俗を払うべく
鍛えし選手の腕見よ

四、 淡き憂に暮近く
あわうれい
紫紺の夕の鐘の音に
ゆうべ
唐紅の口を漏る

五、 春繚乱の花吹雪
りょうらん
秋荒涼の夕間暮
たゆまず歩みし足跡は
今彼の地にて現われん

頑張れ応援歌

頑張れ 頑張れ 頑張れ 健男子
栄ある健児よ 理想の盾をば振りかざし
破邪の剣とりて起て 打てやこらせや
我等が敵を
勝ちて勇姿を世界に示すは この秋ぞ
奮るえや 会工の健男児
フレー フレー フレー

会工賛歌（創立百周年記念歌）
作詞 会工高・100周年記念事業実行委員会
作曲 Watamu Hokoyama（鋒山 亘）

一、 あおぐ磐梯 我らの母校
いま黎明の 思い新たに
さあ進もうよ 真理もとめて
青春かがやけ 会工さわやかに

二、 数えきれぬ 出会いと別れ
汗と涙と 友情はぐくみ
さあ語ろうよ 明日をみつめて
青春かがやけ 会工うつくしく

三、 挑むころ 無限に広く
知恵を出し合い 技をみがいて
さあ創ろうよ 夢をかたちに
青春かがやけ 会工たくましく

令和5年度職員人事

●転出者

●転入先

●転入者

○前任校

渋川 順一 教諭 退職

大塚 雄介 教諭 本宮高校

児島 二郎 教諭 退職

篠原 宏和 教諭 会津第二高校

鈴木美枝子 教諭 退職

菅野 隼 教諭 新採用(新卒)

菅家 慶広 教諭 退職(喜多方桐桜高校)

安斎 光一 教諭 小高産業技術高校

栗田 克志 実習教諭 退職(会津工業高校)

渡辺 智也 教諭 新採用(新卒)

岩沢 廠 再任用教諭 退職(喜多方桐桜高校)

福田 美穂 養護教諭 会津西陵高校

池上 邦彦 再任用教諭 退職(郡山北工業高校)

田邊 芳男 再任用教諭 新採用(郡山北工業高校)

中丸 淳 再任用実助 退職(喜多方桐桜高校)

安部 克彦 実習講師 塙工業高校

田部 清楓 常勤講師 退職(白河実業高校)

小池 恵生 実習助手 小高産業技術高校

前田 健登 期付実助 退職(小高産業技術高校)

上野 真帆 常勤講師 新採用(会津津鳳中学校)

山口 将史 期付実助 退職(宮城県石巻工業高校)

佐藤 幸一 時間講師 新採用(会津西陵高校)

内沼 幸子 学校医 退職

伊関 健二 時間講師 新採用(南会津高校)

鈴木 美咲 スクールサポ
ートスタッフ 退職

佐藤 一智 時間講師 新採用(田島高校)

藤田 忠重 部活動指導員 退職

新妻 里美 副主査 南会津地方振興局県税部

小田切史也 教頭 福島工業高校

板橋 良英 非常勤業務員 新採用

永倉 良正 教諭 福島工業高校

曾根 恵児 学校医 新採用

志田 博隆 教諭 郡山北工業高校

高橋 美瑛 主査 会津農林事務所

※継続

村田 光夫 (再任用教諭) 工業(セラミック化学)

渡部 秀一(専門員 事務部)

渡部 鉄仁(再任用教諭) 工業(機械)

酒井明日香(非常勤業務員 事務部)

長谷川 徹(再任用教諭) 工業(建築インテリア)

松本 博美(事務PTA雇用 事務部)

茂木 利幸(再任用教諭) 工業(機械)

大野きよ子(購買事務PTA雇用 事務部)

大濱 達明(再任用実習助手) 工業(セラミック化学)

吉田 亜矢(スクールカウンセラー)

栗田 克志(再任用実習助手) 工業(機械)

大村 公士(学校歯科医)

吉田会津夫(常勤講師 数学)

関 孝一(学校薬剤師)

小針 勝(期付実助 工業(建築インテリア))

遠藤 広大(部活動指導員 ボクシング部)

太刀川 光(期付実助 工業(セラミック化学))

山口 正之(部活動指導員 柔道部)

会工同窓会本部役員

役職名	氏 名	卒年	備 考
顧問	若狭春生	S38K	本部選出
顧問	藤田晴史	S40E	本部選出・松江春治顕彰会会長
顧問	浅田 誠	S43E	本部選出
会 長	荒井 誠一	S49A	本部選出・松江春治顕彰会幹事
筆頭副会長	白井 達夫	S43E	本部選出・会工電友会会長・参与
副 会 長	荒川富士雄	S43M	本部選出・機友会会長・参与
副 会 長	田中 健一	S42E	東京会工会長・参与
幹 事 長	木村 洋一	S50K	本部選出
副幹事長	菊地 壽雄	S48D	本部選出・会報編集委員長
副幹事長	長尾 好章	S50T	本部選出
副幹事長	田勢 光夫	S51A	本部選出・若松会工会幹事長・会報編集委員
副幹事長	渡部 哲	S52M	本部選出
副幹事長	森田 哲郎	S55M	本部選出・機友会事務局長
幹 事	安藤 昭男	S35T	本部選出
幹 事	長谷川利彦	S41K	本部選出
幹 事	武田 芳仁	S47M	本部選出
幹 事	菅原 正晴	S51A	本部選出・建友会副会長
幹 事	岩 測 浩	S54L	本部選出
幹 事	渡部 優生	S55M	本部選出
幹 事	佐藤 満	S56A	本部選出
幹 事	村澤 智	S62E	本部選出・会津若松市議会議員
幹 事	石川 和弘	S63M	本部選出
幹 事	長谷川純一	H01M	本部選出・会津若松市議会議員
幹 事	渡部恵千子	H06D	本部選出
幹 事	笹内 直幸	H09J	本部選出・会津若松市議会議員
幹 事	照井 友和	H10F	本部選出
幹 事	戸野部武彦	S40M	東京会工会幹事長
幹 事	五十嵐 強	S48M	東海会工会幹事長
幹 事	本名 雄一	H13E	近畿会工会事務局長
幹 事	佐藤 亨	S38C	郡山会工会長
幹 事	星 秀明	S40E	福島会工会幹事長
幹 事	遠藤 幸喜	S59A	坂下会工会幹事長
幹 事	長谷川与一	S40E	猪苗代会工会副会長
幹 事	小 椋 敬司	S47F	いわき会工会幹事長
幹 事	菊地登貴雄	S52M	機友会幹事長
幹 事	青山 孝男	S43K	セラ友会幹事長
幹 事	二瓶 雅孝	H04J	日昔金属化学(株)会工会長
幹 事	大塚裕一郎	H03C	(株)レゾナック東長原事業所会工会長

役職名	氏 名	卒年	備 考
幹 事	珊瑚 優治	S59C	三菱製鋼(株)広田製作所会工会長
幹 事	高 橋 誠	S60E	三菱マテリアル(株)若松製作所鶴友会会長
監 事	小山 源昭	S38A	前建友会会長
監 事	近 藤 信行	S40E	本部選出
監 事	栗 城 和夫	S41M	参与・前機友会会長
参 与	高 梨 哲夫	S55M	会津工業高等学校前校長・磐梯町教育長
参 与	田 中 健一	S42E	東京会工会長・同窓会本部副会長
参 与	三 井 正春	S41A	東海会工会長
参 与	石 川 善一	S39E	近畿会工会長
参 与	石 田 功	S43G	若松会工会長
参 与	佐 藤 亨	S38C	郡山会工会長
参 与	白 井 達夫	S43E	会工電友会会長・同窓会本部筆頭副会長
参 与	二 瓶 嘉人	S39E	福島会工会長
参 与	渡 部 正司	S47D	坂下会工会長
参 与	五十嵐一夫	S43A	坂下会工顧問・会津坂下町議会議員
参 与	江 花 俊和	S37T	猪苗代会工会長
参 与	野 中 寿勝	S50E	会津美里会工会長
参 与	梅 宮 昭	S39A	いわき会工会長
参 与	白 井 武男	S45A	建友会会長
参 与	小山 源昭	S38A	前建友会会長・監事
参 与	荒川富士雄	S43M	機友会会長・同窓会本部副会長
参 与	栗 城 和夫	S41M	前機友会会長・監事
参 与	梨子本 傑	S41K	セラ友会会長
参 与	曾 根 賢治	S36L	前・会工美修会会長
参 与	坂内 茂男	S32K	前監事
事務局 長	渡 部 鉄仁	S54A	事務全般
事 務 局	大 濱 達明	S55K	会報編集委員
事 務 局	真 田 郁夫	S57E	事務全般
事 務 局	鶴 巢 幸江	S58M	本部会計・会報編集委員
事 務 局	雪 下 良治	S63A	事務全般
事 務 局	馬 場 正文	H02M	会報編集委員
事 務 局	永 峯 宏彦	H11M	寄贈マイクロバス運営管理
事 務 局	星 義一	H12A	鶴翔会館管理運営
事 務 局	渡 辺 学	H13A	本部会計
事 務 局	安 部 克彦	H16M	寄贈マイクロバス運営管理
事 務 局	安 斎 光一	H18M	鶴翔会館管理運営・会報編集委員
事 務 局	小 池 恵生	H18M	寄贈マイクロバス運営管理・会報編集委員
事 務 局	太 刀 川 光	H20F	事務全般・会報編集委員



次回第117回総会は
2024年10月19日(土)に開催しますので、
是非ご参加ください！



同窓会会報編集委員
菊地 壽雄 (S48D卒)
田勢 光夫 (S51A卒)
馬場 正文 (H02M卒)
鶴巢 幸江 (S58M卒)
大濱 達明 (S55K卒)
安斎 光一 (H18M卒)
小池 恵生 (H20F卒)
太刀川 光 (H20F卒)

編集後記
会工同窓会報2023発行にご協力いただきました各同窓会支部の皆様、母校教職員・在校生の皆様、各種ご連絡を頂きました全国の会員の皆様、心より感謝申し上げます。また広告掲載を頂きました関係各社に御礼申し上げます。
ウィズコロナの生活の中、今迄にない気候変動による厳しい災害・被害の現れた年でした。被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。
同窓会活動もようやく各地で開催される様になりました。今後も同窓生のご活躍や活動の様子、様々な思いをご紹介します。何卒よろしく同窓会へのご協力をお願い致します。